

ハイバネカナタ 第十一回公演

『猿、降る』

作 服部紘二

〈第一場〉

高田馬場の路上、熊谷エイコと最上リクが
ティッシュ配りをしている。
そばにはティッシュが入っている段ボールが二箱。
舞台中央には、鳴海レイジと左道ノアが向き合って座っている。
やや緊張した面持ちの左道。

熊谷 …もう、無理だよ。全然だめだ、今日。

最上 そうっすか？

熊谷 受け取らないもん。この指の間に挟まったティッシュ、かれこれ10分手から離れない
ね。生まれた時からここにティッシュがあったんじゃないかって思うくらいよ。

最上 そうですか。

熊谷 …。大体ね、月曜の朝からティッシュ受け取る？あたしだったら受け取らないな。

最上 そうですか。青になりますよ。

熊谷 モガー。最上君。最上リク君。

最上 仕事ですから。

熊谷 その言葉嫌い。

人々が通り過ぎていく。

熊谷はやる気がなくなり、最上のティッシュ配りを見ている。

最上のティッシュは受け取られていく。

熊谷 何、何なの？あんたティッシュ配り名人？

最上 いや、そんな…。僕も全然受け取ってもらえないですよ。

熊谷 嘘が下手すぎるよ！

最上 好かれちゃうんですかね。

熊谷 そうですか。

最上 はい(ティッシュ補充)。

熊谷 …あたしのも配って。

最上 嫌ですよ。あ、青になりますよ。

熊谷 位置か。そうね。位置が良かったんだ。ちょっと場所変わって。

最上 え？

熊谷 良いから、変わりなさい。モガーはそっちな。

最上と熊谷の位置が入れ替わる。

最上は順調にティッシュを配っていく。

熊谷のティッシュはカンフーの様に避けられる(S.E.)。

熊谷 え。

最上 どうでした？

熊谷 カンフーの達人に会った。消費者金融のティッシュなんて、誰も受け取らないよ。

最上は自分の分のティッシュが入った段ボールを片付けている。

熊谷 終わったんだ。

最上 え？（熊谷の段ボールを見て）あれ？あれあれ。あー。ドンマ。

熊谷 イぐらい言いなさいよ。

最上 エイコさん、教えてあげましょうか、ティッシュ配り。

熊谷 いや、それはあの、私のプライドが、

最上 まず、肘の角度。あげようという思いやりが見えない。それじゃカンフーだ。

熊谷 それが原因？

最上 もっと思いやらないと。意地でも、相手が破水中の妊婦でもティッシュを渡してあげようという優しさ。そういう思いを届けて。届けて！

熊谷 （ヤケクソ気味に）届け！ティッシュ！ハイテンションファイナンスからのティッシュ！

オー！ミスターティッシュ！

一人の客が、そのティッシュを貰っていく。

貰ったのは、タレントの真下タカミだ。

マネージャーの若松マサヒコがやってくる。

若松 タカミちゃん。お疲れ、今日どうだった？

タカミ マチャピコ、今日来てくれたんだ。

若松 顔出せる時間出来たから。アレ、やった？

タカミ アレ？

若松 おっぱいでつかい幸せいっぱい。こんにちわ、あなたの高見、真下タカミです。
タカミ やってない。

若松 ちょっと。キャッチが必要でしょ。ロケなんだからさ。

タカミ あたしは女優だから。必要ない。

若松 今時のアイドルはみんな持つてるよ。

タカミ おかしいじゃん、そのキャッチコピー。

若松 自分で必死に考えた感が大事なんだよ。それが次に繋がったりするんだから。

タカミ 次？だったら、あたし女優の仕事がしたい。前にドラマ出てから一年経つなあ。

若松 ジャンジャジャーンジャーンジャーンジャーンジャー（手紙を出す）。

タカミ 嘘、ドラマの仕事！？

若松 グラビアの。

タカミ お疲れさまでしたー。

若松 受けたから。

タカミ 嫌だよ、断って。

若松 撮影の時までに、顔変えないでね。

タカミ …。

若松 2ちゃんにもたまに名前が出始めてるから、気をつけて。

タカミ そ。芸能界って怖いね。

若松 …ちよっと、スタッフに挨拶してくる。

若松が出て行く。

タカミはティッシュを取り出し。

タカミ おっぱいでっかい幸せいっぱい。こんにちわ、あなたの高見、真下タカミです。…馬鹿か。

どこかに電話をかける。

ハイテンションファイナンス。

鳴海 数えられた？

左道 81枚です。

鳴海 ブー。もう一回。

お札を数え出す左道。

小泉キョウコが電話で話している。

キョウコ いえ、先生。分ってますよ。今晚ですよね、勿論、先生のお勉強会ですもの、最優先。うん。うん。…またお上手なんだから。ええ。ソレは勿論。ご用意致しました。ええ、それじゃ。失礼しますー。

キョウコが電話を切る。

息子の小泉シンが通りかかる。

キョウコ あ、ちよっと、シン。今日ね、帰り遅いから。

小泉 また高柳先生？

キョウコ そんな、拗ねた顔しないでよ。

小泉 していないよ。

キョウコ もう、仕方の無い子ね(手を出す)。

シンが諦めた様に頭を出すと、キョウコがなでる。

キョウコ もうすぐよ、もうすぐ。母さん、驚く程区議会議員向いてた。この高田馬場をただの学生街なんかでは終わらせない。

小泉 うん。

キョウコ 高田馬場は新宿区なの。新宿と同じくらい発展するべきなのを、あの大久保め。間に大久保入ってるだけで、この大違い。あたしとあんたでこの高田馬場に学生だけでなく、活気と経済を取り戻すのよ。

小泉 何度も聞いたよ。俺だって。

キョウコ アタシの後を継いで、政治家になるんだから、僕か私。

小泉 ……僕だって高田馬場を愛してるんだから。出来る事はなんでも、

キョウコ (抱きしめて) シン。あなたは良い子だね。でも、大久保は手強いわよ。

小泉 頑張るよ。

キョウコ え？もしかして、高田馬場地域振興組合青年局長はもう何か考えてらっしゃるの？

ジーザス。あなたはアタシの期待なんて軽々飛び越えて来るわね！

小泉 ……勿論。

キョウコ どんな？あ、いやいや！言わないで！楽しみにしてるから。

小泉 う、うん、ありがとう。

キョウコが去っていく。

それを見送るシン。

ハイテンションファイナンス。

左道は札束を持って数えている。

鳴海 なあ。

左道 はい。

鳴海 どうだった、昨日までの研修。

左道 不安でしたけど、楽しかったです。皆さん優しいし。

鳴海 ま、今までが今までだからな。

左道 今まで？

鳴海 大体研修中にいなくなるの。だから久しぶりの新入社員。

左道 はあ。

鳴海 お前さ、金借りにくる奴の話聞いてると笑ってるよな。

左道 え？

鳴海 数えられた？

左道 あ、はい。えっと、86枚、です。

鳴海 さつきより増えたね。それも違うし。

左道 すいません、数えれば数える程お金が増えていくんです。お金にだまされる。

鳴海 もう一回。

左道 はい。

鳴海 ……左道ノアって珍しいよね、名前。

左道 ……。

鳴海 無視はダメ。

左道 良く言われます。だから、好きじゃありません。

鳴海 普段、家で何してる口？

左道 Youtubeとかニコ動とか、見えます。

鳴海 暇人め。その暇人が、どうしてうちみたいな街金に勤めたいと思ったの。ここなら競争率

が低いと思った？

左道 ……全くないって言ったら嘘になりますけど。なんだか居やすかったんです。

鳴海 神様に金貸して、後ろめたくないの。

左道 神様に何か貸すのは慣れてますんで。

鳴海 なんで貸す時笑ってたの。

左道 87枚です。

鳴海 は？

左道 87枚でした。

鳴海が札束を受け取り、数える。

鳴海 増えたね。

左道 増えちゃいました。

鳴海 …はい、正解。

左道 良かった。

鳴海 金数えるなんて話しながら出来る様に。で、なんで笑ってたの。

左道 特に自覚は…。笑ってたんですか、そうですか。

鳴海 笑ってたよ。神様の不幸。

左道 そうですか。

鳴海 向いてるよ、この仕事。街のものすごいほじっこから世界が見えるよ。今日から正社員だ。よろしく頼む。

音楽がなる。

すると、山脇ノリコがやってくる。

ノリコ うるさいー！

山脇 あ、ノリコ。

ノリコ うるさいから音量下げて！

山脇 え？え？

ノリコ 音量下げてって！

山脇 え？

ノリコ もうー！（リモコンを使ってテレビを消す）人が新作で頭捻ってんのに何やってんの。邪魔したいの？

山脇 えっと…。

ノリコ 何。

山脇 あの、あのね…。

ノリコ …良いから、静かに、それだけお願い。

ノリコが去ると、山脇はリモコンを持つ。

テレビをつけようとするが、出来ない。

ノリコが通りかかる。

ノリコ 出かけてくる。外の空気でも吸ってこないと駄目だ。ブログの読者に飽きられたら終わりなのこっちは。聞いている？

山脇 聞いている聞いている。

ノリコ ったく、休みだからって良いご身分だね。あたしには休みが無いのに。

山脇 毎日料理をブログにアップするのが仕事だもんね。本まで出しちゃって。

ノリコ 皮肉？

山脇 まさか。凄いなあって。俺には出来ない。

ノリコ …よせやい。夕飯、待てる？

山脇 うん。大丈夫。

ノリコ じゃあ、ちょっと散歩してくる。ああ、お気楽な夕飯が懐かしい。(考え直して) 読

者、読者。

ノリコが出かけていき、ドアの閉まる音がする。

山脇はテレビを付ける。

席を立とうとするが立ち止まり、音量を思いっきり上げる。

すると色んな人々が出てきて、踊り狂う。

〈第二場〉

大津ヤスジロウが現れ、財布を落とす。

後ろからやって来た巢鴨モンザエモンがそれに気付き、財布を拾う。

巢鴨 落しましたよ。

大津 え？あ、ありがとうございます。

巢鴨 お尻ポケットにいれちゃうとね、落としやすいんだよね。

大津 ですね。

巢鴨 トイレ行く？

大津 いや、行かないですけど。

巢鴨 行くでしょ。トイレ。トイレだよ？アイドルじゃないでしょ？

大津 アイドルに見えますか。

巢鴨 トイレでさ、ズボン下ると、落ちちゃうんだよね。お尻のポケットから。ズボンのお尻のポケットってなんか良いような悪いようなだよね。どう思う？

大津 あの、これ、一割です。

巢鴨 受け取れないよ。

大津 良いですから。気持ちです。

巢鴨 そう？

大津 それじゃ、ありがとうございます。

大津、逃げる様に去る。

巢鴨 気持ちのいいヤツだな、彼氏！…あ、そつだ。ちょっと聞きたいんだけど…ねえ、彼氏！
待って！

巢鴨、追いかけて去っていく。

高田馬場地域振興組合青年局。

田中マキと森下アサヒがいる。

森下アサヒは天津が置いてる雑誌を読んでいる。

田中 アサヒ、今日、暇？

森下 え？あー。うん。

田中 買い物行かない？

森下 あー。うん。

田中 …その雑誌面白い？

森下 全然。センパイのだし。あの人さ、本当に映画撮った事あるのかな。

田中 映画学校行ってたんだから、あるでしょ。そりゃ。

森下 映画監督ってどうやったらなれんの？

田中 それは、賞とか取れば良いんじゃない？良く知らない。

森下 あ、さっきあったあった。えっと。PPP…、何コレ。賞金500万！締め切りは来月！

田中 ガビーン。センパイ監督なれず！

森下 あはは何ソレ。ガビーン。

小泉が手に箒とチリトリを持って帰ってくる。

小泉 ちょっと。いつ来るんだよ。

森下 今行こうと思ってた。

小泉 その体勢で？何の話してたの？手伝いもせず。

田中 センパイが本当に映画を撮っているかどうかの話。

小泉 うわー、どうでも良い。

田中 あたしは、インド映画のすばらしさについて延々語られた。

小泉 そんな事よりさ、考えてくれた？

森下 何を？

小泉 地域振興のさ。何か、新しい活動。

田中 いや、さっきも言ったけど、このグループ実質四人しか居ないし、地域振興組合って言うたって、正直、名前だけでしょ。

小泉 だからこそさ。何かやらないと。アサヒは？

森下 えー？あー、じゃあさ、センパイに映画撮ってもらえば良いじゃん。あ、ソレ良いじゃん。

小泉 映画？

田中 地域密着型の、映画？何ソレ。

小泉 …おお、悪くないね。

田中 ちょっとー。本気？

大津がやってくる。

大津 早いね。

森下 センパイ、映画撮らない？
大津 は？

小泉 高田馬場地域振興組合青年局の地域振興の為の映画だよ。
大津 長い長い長い。どうしたの。

小泉 地域振興。地域振興。
大津 …さっきさ、へんなおっさんに声かけられてさ。

小泉 センパイ、ちよっと。
大津 地域振興の映画を撮れって言ってるの？

小泉 どうかな。
大津 無理じゃないかなー。

小泉 無理じゃないよ、無理じゃない。センパイなら出来ますって。
大津 ちよっと、どうしちゃったの、コイちゃん。

田中 今日は来た時から、何か新しい事しなきゃって。変に焦って、必死。
小泉 別に必死じゃ無いし。

森下 映画撮るならさ、あたし出る。
大津 え？

森下 演技とか出来ると思うんだ。
大津 経験あるの？

森下 桃太郎のキジ、の弟やった。
大津 弟！？

森下 そうそう。鬼退治をする。
大津 俺、その桃太郎知らない。

森下 あたしは、主役が憧れるんだけど、全然そいつには興味が無い女ね。
大津 撮らないって。

小泉 なんだ、撮れないんだ、映画。
大津 撮れないんじゃないの。撮らないの。分かる？…お金だって掛かるんだよ。

田中 じゃあ、お金があれば撮れるの？
大津 勿論だよ。撮りたくて撮りたくてしょうがないんだから。

田中 ふーん。コイちゃん、出せば？
小泉 え？

大津 は？
田中 お金さえあれば、映画撮れるんですよ。地域振興の内容にすればコイちゃんも満足で

小泉 しょ。良いじゃん。
小泉 おお！

大津 いや、でもさ。
小泉 (ポケットから財布出して) 30000円あるよ！

大津 3000円じゃ、ちょっと足りないな。

小泉 いくらあれば。

大津 も、諸々そうだな、諸経費込みで2、300万は。機材も揃えなきゃだし。

森下 (雑誌を取って) あ、じゃあ、コレだそうよ。間に合わせてさ。そしたら賞金500万!

小泉 PPPPPFF?

大津 ポール・ペール・パイン・パイプフィルム・フェスティバル。

森下 映画だー。

大津 アサヒ。アサヒさん。

田中 自信無い?

大津 バカ。自信はあるよ。ただ、間に合うかな。脚本だって書かなきゃ、

森下 (雑誌を見て) 映画の時間は30分以内で良いんだって。短くても良さそうだね。映画だー。

大津 ちよっと。

田中 自信なかったかー。そうかー。

大津 自信満々だよ。よ、よーし、じゃあ。映画撮るか!撮るかー?

小泉・田中・森下 映画だー。

大津 もう、分かった!撮っちゃう撮っちゃう!

小泉・田中・森下 撮っちゃえ撮っちゃえ。ついでに賞金も獲っちゃえ獲っちゃえ!

大津 500万!ポール・ペール・パイン・パイプフィルム・フェスティバル!

小泉・田中・森下 (言えない) ポール・ペール・@@@@@!

全員 おー!

全員が集まり口々に声を上げる。

いつの間にか端から見ていた巣鴨も合流。

巣鴨 おー!

森下 誰!?

巣鴨 あ…やあ!

〜第三場〜

鳴海と山脇が居る。

鳴海は手に山脇から受け取った資料を持っている。

二人の間の机にはコップに水が入っている。

鳴海 この特AとかCプラスって何?

山脇 将来性ですね。

鳴海 …。

山脇 いや、つまり、オススメ具合です。社長にも是非行ってもらいたいっていうか。

鳴海 俺?

山脇 特Aはなかなか付けられないんですけど。カリンちゃんには思わず。でも、過去一番は悪魔っていう評価が。

鳴海 風俗嬢の評価だよ。悪魔ってなんだ。

山脇 悪魔的な、風俗嬢。

鳴海 どうでもいい。重要なのは、彼女達のやる気だ。つまり借金を返す気が続いているかどうか。

山脇 分かってます。ただ将来性のある風俗嬢には海外からのオファーもありますからね。

鳴海 海外？

山脇 あ、別のお店ってことです。馬場の栄通りから歌舞伎町っていう激戦区への移籍も考えられますからね。ポジションが大事なんです。顔、スタイル、性格、テクニク、器量、戦術。

鳴海 戦術？

山脇 海外移籍すると、トップ下からサイドバックになる事もあり得ますからね。それがチームです。だから、戦術にフィットするかどうか。大事なのはそこで自分を失わずに、ドリブルやパスを織り交ぜて、かのベッケンバウアーが、

鳴海がコップの水を引っ掛ける。

山脇 …。

鳴海 山脇さん。僕はね、あなたの借金の利息分を使って、あなたにバイトしてもらってんですよ。泡に沈めたお嬢達が逃げようとしていないかどうか。あなたの実益も兼ねて監視をね、して欲しいと。サッカー、見に行つて欲しくないんですよ。

山脇 や、やだなあ、分かってますって。一番後ろの数字がそうです。数字が高い程、不満が高かった人です。

鳴海 ふーん。…チカコも不満が溜まってんの。へえ。

山脇 あー、彼女ね。ドリブルは上手いんですけどね。

鳴海 ドリブルは、どういうプレイの事言ってるの？

二人の話の中、最上、熊谷、左道の順で耳を澄ましている。

熊谷 聞こえる？

最上 少しだけ。サッカーの話ですかね。

熊谷 あー。やめやめ。どうせ聞こえないし。面倒くさい。

左道 山脇さんて、神様ですよ。

熊谷 そ。

左道 あのー、なんでお客を神様って呼ぶんですか？

最上 お金を渡すとどんどん増やして返してくれるんです、そんな事神様くらいしかできないですよ。

左道 はあ。

熊谷 良いのよ。日本には神様が八百万もいて、神様バーゲンセール中なのよ。うちがちよっと神様増やしたって誰も文句言わないわよ。

左道 そういふもんですか。

最上 そういえば今日、エイコさんに付いて、外回りしたんでしょ？どうでした？

左道 いや、凄かったです、エイコさん。メモもいっぱいしました。

最上 へえ。

左道 返済済った人が居たんですけど、その時熊谷さん何言ったか分からないんですけど、何か言ったんですよ。そしたら奥からお金出したんですよ、その人。

最上 それはね、エイコさんにしか出来ないから。

左道 やっぱりそういうのがあるんですか。

熊谷 あたしも何言ってるか分かんないよ？

左道 え？

最上 めちゃくちゃ言ってるだけだから。あれ。

熊谷 てめえ、わるくんちゃんてんぼうの。警察さんこんにちわがどんちゃんどんちゃんぶらー

ぼー。はいー？

左道 てめえっていう所までは。

最上 この人、外人とも喋れるから、これで。

左道 凄すぎる。

熊谷 そんな事考えてたの。笑ってたじゃない。あの時。

左道 笑ってた？驚いてましたよ、あたし。

熊谷 笑ってたでしょ。あの人が、返済出来ない理由を延々喋ってる時にさ。

最上 珍しいね。

熊谷 そうなのよ。

最上 初めて返済に立ち会ったりするとき、大体なんかどんよりした顔するんだけどね。良心の呵責って奴？

左道 笑ってたんですか、あたし。

鳴海と山脇がやってくる。

鳴海 それじゃ、また次も。よろしく。

山脇 こちらこそ、よろしくお願ひします。

鳴海 あ、そうそう。山脇さんの彼女は見つかったんですか？

山脇 …いえ。

鳴海 残念。高田馬場のお店は制覇しちゃったんじゃないですか？

山脇 お店は、高田馬場だけじゃないですから。失礼します。

山脇は鳴海以外を視界に入れず去っていく。

最上 ありがとうございますましたー。

熊谷 彼女ってなんですか？

鳴海 あの人は一度会っただけの風俗嬢を探してんだよ。結果風俗行きまくり。
最上 え、それで借金かさんで？えー？えー？行き過ぎー。

熊谷 キモい。キモ神様だ。

左道 (メモ) 山脇さんはキモ神様。

鳴海 それメモってどうすんだ。

左道 ふえ？

鳴海 お前、外回りで何を教えてきたんだ。

熊谷 ふえ？

電話が鳴る。

最上 はい、ハイテンションファイナンス。

熊谷 鳴海さん。

鳴海 なんだよ。

熊谷 山脇さん、ちゃんとバイトしてんですか？

最上 あっはっはっはっは！

鳴海 利息がなくなつて色んな店に行けて、彼女も探せる。最高のバイトだろ。

熊谷 アタシだったらー行ったふりしてバイト代せしめますね。

鳴海 そんな事したら、地獄の果てまで追いかけるから大丈夫。

最上 あっはっはっはっは！

鳴海 …。

最上 社長、お電話です。

鳴海 俺だったのか。…も、もしもし？なんだ、お前か。いや、笑ってたから。怖くて。で？

何？…あー、あそう。いや、それは分からないけど。

熊谷 何笑ってたの？

最上 笑った方が良いかと思つて。

左道 なんですかそれ。

最上 タカミさんだったんだけど、いや、なんかテンションがおかしくて。

鳴海 うるさいうるさい。いや、こつちの話。…とりあえず、こつち来いよ。…ああ。

巻き戻しながら退場。

〜第四場〜

入れ替わりでタカミがいる。

タカミは上下ともにジャージを着ている。

ドラマの台本を持っている。

タカミ いらっしやいませ。ご注文は。かしこまりました。アイスコーシーにガムシロップ5個
で。ありがとうございます。(満足そう)

若松がやってくる。
音楽を止めるタカミ。

若松 お疲れ様。あのね、タカミちゃん。
タカミ あ、マチャピコマチャピコ。
若松 はい？
タカミ いらっしやいませ。ご注文は。かしこまりました。アイスコーシーにガムシロップ5個
で。ありがとうございます。…どう？

若松は黙って台本を奪う。

若松 アイスコーヒー。ガムシロップは1個ですね。

タカミ …へっ。

若松 なんですか。

タカミ 個性を作らないと。でしょ？

若松 タカミちゃん。どこに向かっているの？

タカミ 温水洋一さんとか、生瀬勝久さんみたいな個性的な役者になるしかないかと思って。

若松 たかが喫茶店の店員がそんな狙わなくて良いんです。

タカミ 印象に残らないじゃない。

若松 印象よりも次に繋げる事を考えて。

タカミ 携帯ドラマの次って言われてもなー。

若松 携帯ドラマですけどね。ご希望のドラマですよ。っていうか、全然力入って無いじゃない
ですか、グラビア！

タカミ 私は、グラビア卒業したの。

若松 あのね、ドラマの仕事の条件は果たしたんだから、ちゃんとやって。

タカミ はいはい。さっきのはテストでしょ。本番はパーフェクトだから。

若松 信じてるからね。

タカミ パーフェクトパーフェクト。

村井レイカがやってくる。

レイカ …あれ？お疲れ様です。

タカミ あ、レイカ。お疲れー。

レイカ 何かこの後も仕事入ってるんですか？

タカミ 何言ってるの。これから本番でしょ？

レイカ え？

タカミ え？

レイカ …えっとー。これで撮影今日は終わりって言ってましたけど。

若松 誰が。

レイカ カメラマンの、山内さん。

タカミ だって、さっきのはテストって。

レイカ でも、あ、でもでも。レイカの人に、なんか乗ってきたからこのまま本番行っちゃおうって。

タカミ あたしの時にそんな事は…。

レイカ あー、でもほら、真下先輩グラビア顔だし。本番とテスト、手を抜かないですよね。

タカミ 抜かない。抜く訳ない。

レイカ さすが、グラビア顔。レイカは、ドラマ班だから。（台本出して）アメンボ赤いなあいっえお！

若松 何それ。

レイカ あら、見つかっちゃいました？そうなんですよー。月9。出る事になっちゃってー。月9。レイカ、オーディション受かっちゃったんです。

タカミ ゲスト出演？

レイカ レイカ、準レギュです！

タカミ そう。

若松 良かったね。

レイカ ありがとございます！だから、今日であたし、グラビア卒業なんです！。もしドラマ駄目だったら戻ってきますけど。保険ってどうか？フッフッ。お疲れ様でした！。

レイカ去っていく。

若松 ちょっと、カメラマンさんどこ行ってくる。

若松去っていく。

タカミは自分の台本を鞆にそっとしまう。

携帯をいじろうとするが、その画面に映った自分の顔に見入るタカミ。

それから携帯で電話をする。

タカミ あ、もしもし。その声は、モガー？どうもー、あなたの高見、真下タカミです。ヒマラヤ山脈くらい上から見えますよー。やつほー。笑わないで。なんで笑ってるの。レイジ居る？笑うなって。ちょっと、なんで笑ってるの。

タカミ、去る。

〈第五場〉

入れ違いでキョウコが現れる。

腰から下のエプロンを付け、腰にタオル、手に箒のスタイル。

そこにやってくる小泉。

小泉 母さん。

キョウコ あら、おかえり。今日は早いわね。

小泉 …。

キョウコ 何？どうしたの。

小泉 青年局の活動なんだけどね。

キョウコ あら、ありがとう。じゃ、はい。(箒を渡す)

小泉 うん。(受け取るが道は掃かず、変な形になり)…違うんだけど。

キョウコ どうしたの、凄い、矢沢永吉みたいな格好で。あ、待って待って。(歌いながらタオ

ルを投げる) 乗ってくれ、Taha!

小泉 止めて、違う。

キョウコ (寂しそうに) 違うの…。

小泉 逆にこっちが恥ずかしいから。

キョウコ じゃあ、活動って何？

小泉 ホラ、あの新しいアイデア。映画を撮るんだ、地域振興の。

キョウコ へえ。それで？

小泉 高田馬場の色んな所で撮影したいんだ。母さん。撮影の許可を取るのに力を貸して欲しい。

キョウコ え、ちょっと、それは…。あたし、そんな権限ないし。

小泉 母さんの名前があれば楽勝でしょ。

キョウコ 出来れば協力してあげたいけど。どんな映画かも分からないし。

小泉 内容はね。

青年局の面々がいる。

巢鴨 それじゃ、この内容で良いと思う人。ハイ!

巢鴨と大津はすつと手を挙げ、他の三人はなんとなく手を挙げていく。

巢鴨 わあ、全員一致だ。いよっ!(拍手)

森下 ねえ、アレ結局誰なの？

田中 分からない。ルンペン？

巢鴨 ルンペンじゃない!いや、突然、本当申し訳ない。助けてさしあげられたらと。

小泉 巢鴨さんが。

巢鴨 ほら、私アレじゃないですか。映画、好きじゃないですか。

小泉 知らないんですよね、そのアレってのは。

巢鴨 ちよつと、さつき話したぞ。少年。今日は映画カントクと運命的な出会いをして。

大津 財布拾ってもらっただけですから。

巢鴨 でも!その方が映画撮るのに悩んでる。そして、私は映画好き。こりゃ恩返し之恩返しをするチャンス!そしてホラ、内容も決まったじゃないですか。

田中 殆どおじさんが決めたでしょ。

巢鴨 これでもね。多くの子供達の面倒見てますしね。

小泉 確かに、巢鴨さんが居なければ、高田馬場の決闘なんて話があるなんて知らなかったし。

田中 カントクは知ってたんだっけ？

大津 …知ってたさ！歌舞伎だろ！

森下 怪しい。

田中 忠臣蔵のスピノフでしょ？堀部、なんだっけ？

巢鴨 安兵衛。堀部。堀部安兵衛。ヤスベ。ホリベ。

田中 なんか腹立つ。

大津 ど、どうせね！喧嘩の助太刀話なんてそのままやれないんだから。知らないくらいが丁度良いのだよ。恋愛だっけ？入れたいだろ。

森下 勿論！

大津 面白くなりそうじゃ無い。現代版助太刀話イン高田馬場。オン高田馬場？イン？オン？イオン？イオン高田馬場？

小泉 ショッピングセンターの話？

小泉家前。

キョウウコ 大丈夫なの。それ。

小泉 大丈夫。映画好きが面白そうだって言うんだから。

キョウウコ 今時、助太刀の話ねえ。

小泉 スカッとする。

キョウウコ …その交渉も含めて頑張ったら？あんたの糧になるわよ。

そこへ、近所の住人がやってくる。

加藤トミコと斉藤フミだ。

加藤 あら、小泉の奥様。こんにちわ。

キョウウコ あらー。こんにちわ。

斉藤 今日もお掃除してもらっちゃって。

加藤 あら？こちらは息子さん？

キョウウコ そう。息子のシン。

加藤 今日はお休み？

キョウウコ 今はね、高田馬場の地域振興組合にいるの。社会勉強中ってやつ？

斉藤 働いてないってこと？

加藤 ちよっと斉藤さん。おほほほ。

斉藤 あー、おほほほほ。

キョウウコ おほほ。おほほほ。

山脇ノリコが通りがかる。

ノリコ こんにちはー。楽しそうですね。

斉藤 あら、ノリちゃん！こんにちはわ。

加藤 見たわよ、ブログ。新しい料理の本！

ノリコ 発売されたら、持ってくるわね。あ、小泉さんにも。

キョウコ あたしは。そういうの受け取っちゃうと何言われるか。

ノリコ あー、大変ですね。

斉藤 本当お互い自立して、山脇家は理想だね。ノリちゃんの旦那さんは浮気とかなさそうですね。ねえ、小泉の奥様。

キョウコ え、ええ。そうですね。

ノリコ そんな大したモンじゃないわよ。あ、これからスーパー森下？一緒に行く？

加藤 行きましょ行きましょ。

斉藤 小泉さんは？

キョウコ あたしは…。あたしはね、ちょっとこの子の映画の話があるから。

加藤 映画？

小泉 え？

キョウコ 映画撮ってるのよ、高田馬場の為のね。そのお手伝いをして。

加藤 すごーい！映画！じゃあ、お忙しいところに声かけちゃったかしら、ごめんなさいね。ケ
チャップ買ってくる？

キョウコ 良いの良いの。気にしないで。

斉藤 じゃあ、マヨネーズは？

キョウコ ありがとう。でも、ノーサンキュー。

加藤 映画、出来たら見せてね。

小泉 あ、はい。ありがとうございます。

加藤 それじゃ、お邪魔しました。

キョウコ 行ってらっしゃいー。

ノリコ、加藤、斉藤去っていく。

小泉 母さん？…ありがとう。

キョウコ …警察には私から連絡するわ。

小泉 助かるよ。…。

キョウコ 何？もしかして、他にも何か？あ、お金？

小泉 ううん、いや、何でも無い。

キョウコ そう？じゃ帰るわよ。

キョウコ去っていく。

青年局。

小泉 カメラを買うお金？

大津 良い作品には、良いカメラがないと。無かったら映画撮れないなあ。残念だなあ。したかったけどな、地域振興。

森下 ホツとしてる？

田中 ちょっと。良いの？あの人、止めるってなったら次は無いわよ。

巢鴨 映画、出来たら、教えてください。見るから。

森下 …どうやって？

巢鴨 携帯電話に決まってるじゃないですか、あ、教えないとね、電話できませんね。えーつと。ペンはあるんですけど…。

森下 紙？紙なんてある？

巢鴨 あ、良いです良いです。これで。(ポケットティッシュ)

大津 巢鴨さん、それはいくらなんでも。

巢鴨 書き難い。なんだ。

大津 巢鴨さん。

巢鴨 ちょっとお静かに、今繊細な仕事なんだ。

田中 あ！

巢鴨 あー！(破く)びっくりさせないで。もう一枚だ。

田中 (裏の広告を小泉に。)コイちゃん、これこれ。

小泉 ハイテンションファイナンス。

田中 融資最大100万までって。映画祭の賞、500万獲れるんですよ。

大津 俺が撮ればね。でも、無理なら仕方ないね。

田中 すぐ返せるじゃん。

大津 今日は帰ろうかなー。

小泉 カントク、カメラ用意しましょう！しちゃいましょう！

大津 …まじ？

青年局の面々は去っていく。

〈第六場〉

ノリコ、加藤、斉藤がやってくる。

加藤 ノリちゃん、もしあの物静かな旦那さんが浮気してたらどうする？

ノリコ えー。

斉藤 あたしは、殺すね。で、あたしは死なない。一生。

加藤 それは無理じゃない。

斉藤 だって悔しいじゃない？死んでやるもんですか。

ノリコ あたしはね、ま、とりあえず、離婚して慰謝料ふんだくる。で、2チャンネルに実名と写真晒す。(雷鳴で怪しげな明かり)ふっふっふっふ。

加藤・斉藤 こ、怖い。

ノリコ 風俗とか浮気とか、もう、人間の所業じゃないからな。

三人は去っていく。

怪しげな明かりになったまま、山脇が突き飛ばされた様に現れる。

パンツとアイマスクとお腹には四次元ポケット。

シズカは、純朴な衣装を着ている。

山脇 シズカちゃん。

シズカ (携帯をいじっている) …。

山脇 あれ？ちよつと。どこ？居る？シズカちゃん、いるんでしょ？

シズカ いるわ。

山脇 良かったー。

シズカ ドラちゃん。

山脇 なんだい？のび太く、シズカちゃん。

シズカ (ベルト鞭で地面をたたく) 間違えないで！

山脇 ごめんなさい！

シズカ 怖かった？でも大丈夫。あたしが守ってあげるからね。だから、明日も来てくれる？

山脇 え、明日も？

ビーっとアラーム音が鳴る。

シズカ はい、ありがとうございました。延長します？

山脇 ドラえもんSMじゃ、ちよつと。

シズカ きゃっ、山脇さんのエッチ！どう？延長する？

山脇 いやいや。どっちにしてもこれ以上は無理なんです。嫁に、バレますんで。

シズカ ふーん、こんな時も考えてもらえるんだから、奥さん幸せね。だったら風俗来ない方が

良いんじゃない？

山脇 色々あるの。

シズカ 会社で？

山脇 なんで。

シズカ さっき、同僚を四次元ポケットに入れてやりたいって。

山脇 あー、まあ。入れたら一生出さないけど。

シズカ どんな同僚なの？

山脇の会社、社員らが出てくる。

西岡社員 今日の昼もコンビニ弁当だよ。

白田社員 あたし、お弁当。代わり映えないね。

前田社長がやってくる。

前田社長 ところが、ここになぜか一万円が。ついてきな。

白田社員 社長！

前田社長 (山脇に気付き) あ。

山脇 …あー、忙しいなあ。こりや、昼飯抜きだなあ。

前田社長 山脇君。働け。馬車馬の様に働け。そしてたまにいななけ。ひひーん。ちょっとお昼行ってくるな、頼んだぞ。

山脇 あ…、はい。

白田社員 社長、山脇さん。あたしの事いやらしい目で見てくるんですよね。

前田社長 私も、見ているぞ。

社員らが去っていく。

シズカ (ツイッター) おっさん、会社で居場所ないなう。今後もないいうる。

山脇 ちょっと何呟いてるの。

シズカ で、奥さんに癒してもらったり、風俗来たりしてんだ。

ノリコ、登場。

ノリコ あんたもなかなか昇格しないね。あはは。ついにあたし月給あなた越えちゃった。あははは。え、会社で？あらそう。それでね、あたしの本また増刷されるんだって。

ノリコ、去る。

山脇 そう、癒してもらってる。いろんな人にね。…。あ、あのさ。

シズカ え、何？延長？

山脇 違う。ムラサキって源氏名、だと思っただけど、そんな風俗嬢知らない？

シズカ 誰それ。

山脇 5、6年前で、さかえ通りの「Yes、エロスクリニック」で働いてた…。

シズカ そのお店に行けば？

山脇 もう居ないんだ。

シズカ 何？その女探してんの？他の店で？何それ。なんかムカつく。知らない。

山脇 あ、違う。ごめんなさい。

シズカ 時間だからさ、帰ってよね。あたしも忙しいんで。じゃ、また世界の果てで。

シズカ去っていく。

山脇は服を持ち、財布を取り出す。

財布には1000円しかない事に笑いながら、去っていく。

〈第七場〉

山脇のそばに鳴海がやってきて、財布から3万円取り出す。
若松がそれを受け取る。

若松 毎度有りい。持ちつ持たれつ、ありがとございます。

鳴海 お前の紹介のおかげで、新規顧客も増えるからね。

若松 あの時、タカミを紹介してなかったら、高校の同級生にお小遣い貰う事にはならなかったな。

鳴海 タカミは優秀だよ。返済遅れない。

若松 ふーん。あいつ、何回も借りてんだろ。

鳴海 おかげ様で。

若松 どうやって返済してんだ？

鳴海 そりゃ、お前の持つてくる仕事してんだろ。

若松 先月の給料、4万5000円。

鳴海 嘘だろ。女優…。

若松 先月グラビア1本だけ。あんなに顔いじってんのにさ。で、返済について何か知らない？

鳴海 さあ。あ。

若松 何？

鳴海 いや、電話で先生って呼んでるのは聞いた事ある。

若松 整形外科の先生だろ。

鳴海 違う感じだった。

若松 先生。

鳴海 ま、詳しくは知らないよ。俺らは返済してくればそれで良いんだから。

若松 いや、十分だよ。ありがとう。

鳴海と若松が部屋を出ると、タカミ、左道、熊谷、最上がいる。

タカミ そんな男捨てちゃえ捨てちゃえ。

左道 捨てました。有り金全部持つてかれたけど。

タカミ 最悪。

熊谷 それ幾つの時？

左道 25くらいでしたかね。

熊谷 壮絶だね。

左道 手切れ金ですね。手切れただけマシかなと。

最上・熊谷・タカミ いやいやいや。

タカミ ダメンスだなー。

鳴海 何の話？

タカミ ノアちゃんを風俗に行かせようとした借金男の話。

若松 何それ、ディープ。

タカミ 終わったの？

若松 高校時代の話なんかすぐ終わるんだよ。

タカミ ふーん。

若松 で、風俗入ったの？

左道 …まさか。

全員 おいおいおい！

タカミ その間、緊張するじゃん。

若松 じゃ、帰ろうかな。タカミちゃんは何？

タカミ あたしは、暇つぶして行く。仕事がありませんので。

若松 そうなんだ。じゃあね。

若松 去っていく。

タカミが舌をベーツと出す。

鳴海 暇つぶしの場所じゃないぞ。仕事。

タカミ 聞いた？今の。そうなんだ。って。お前が持ってくるべきだろうが、仕事は。

鳴海 俺の話聞いた？

タカミ 聞いたわよ。仕事なんですよ。仕事させてあげようじゃない。

鳴海 何言ってるんだ。

タカミ あんたこそ何言ってるの。

鳴海 俺？

タカミ お客は居るわ。

ハイテンションファイナンスの面々は戸惑う。

四人 …いやいやいや。

タカミ いるじゃない。

左道 ふふふ。

熊谷 見えちゃいけない人が見えてるんですか？

タカミ ここよ。いるじゃない。(それぞれ指して)社員社員社員、いるじゃない。

四人は不思議な顔をする。

タカミ バカ。バカたれ。バカタレーズ。

鳴海 失礼だな君は。

タカミ レイジ。お金貸して。

鳴海 今度はどこを直すんだ？

タカミ 今度はね、やっぱり目かな。後、鼻ももう少し高く。その微妙な加減がね、女優として

左右するのよ。

熊谷 芸能界も大変ですね。

タカミ まあね。もう少しなのよ。きつとね。もう少し。ちょっとした変化で良い。コレが最後だから。

左道 整形？必要ありますか？

タカミ 不格好じゃない？気に入らないのよ。

鳴海 いくら欲しいの。

タカミ 100。

鳴海 返済は？

タカミ 今まで遅れた事あった？…コレが最後だから。

鳴海 …エイコ、お金と書類。

熊谷 はい。

エイコが取りに行く。

鳴海 利息は変わらないから。

タカミ 分かってるわよ。…何笑ってるのよ。

左道 え？笑ってる？

タカミ それは笑顔じゃないの？

左道 そんな。可哀想だなんて思っただけで。

タカミ 傷つくわね。

鳴海 そうすると、多分、もっと笑うよ。こいつは。

タカミ 今、面白い？あたし？

左道 いや。えっと…。

小泉と田中がやってくる。

小泉 すいません、ハイテンションファイナンスはこちらで？

最上 いらっしやいませ。えっと、初めて、ですよ？

小泉 はい。あの、融資を。

鳴海 新規の方。じゃ、こちらへどうぞ。ノア。お茶。

左道 はい。(準備に出て行く)

擦れ違いにエイコがお金を持ってくる。

一瞬立ち止まる二人。

田中はタカミを見て何かを思い出そうともしている。

鳴海 どうぞ。

三人、別室へ。

熊谷 じゃ、タカミさん、いつも通り、サインと印鑑を。

タカミ はいはい。

最上 でも、凄いですよね。いつもきっちり返済して。

タカミ まあね。あたしには奥の手があるから。
最上 奥の手。

タカミ あの新人ちゃんもさ、大分こじらせてんじゃない？元風俗嬢かあ。
最上 風俗やってないって言ってましたけど。

タカミ これだから男は。

最上 え？

熊谷 こいつは頭平和だから。

タカミ ひっくり返したらまだまだ出てくるんじゃない、アレ。レイジはさ、そういうのを集めるのが趣味なの？

熊谷 いや、趣味っていうか体質？ははは。

左道がお茶を持ってきて別室へ移動。

タカミ それじゃ、女優真下タカミは文字通り、一皮むけてきます！

タカミ、去っていく。

別室。

タカミの声に田中は驚いていた。

鳴海 なるほど。

小泉 (ティッシュの裏の広告をだして) それで、この限度額の100万貸して欲しいんです。

鳴海 良いですよ。ただし、100万は信用が出来てからです。10万が良いですか。

田中 え、でも、これ。

小泉 そんな事どこにも。さっきの人は？

鳴海 だって、初めて会う人に100万ポンとは貸せないでしょ。

田中 信用、できます。この人のお母さん、新宿区議会議員です。

小泉 ちよっと。

田中 小泉キョウコって知りませんか？

左道 (小さい声で) なんてったってアイドル。なんてったってアイドル。赤いコンバーチブル…。

鳴海 歌わないで。っていうか、どうして歌うの。

左道 小泉今日子…。

鳴海 新宿区議会議員。恭しいに子供の子。別人だよ。

小泉 知ってるんですか？

鳴海 あれだけ駅前で新宿のキョンキョン、新宿のキョンキョンって言ってたらね。ふーん、子供いたんだ。

小泉 すいません。

鳴海 …どう思う？地域振興のための映画を撮るんだって、

左道 え？あたしですか。えっと。貸してみても良いかなど。あ、でも返済計画は？

田中 もちろん、映画祭に出品してグランプリを取って、そうしたらすぐにでも返済を。

鳴海 獲れるの、そのグランプリ。

小泉 勿論です。獲ります。獲らなきゃいけない。母にも期待してもらってて。

鳴海 お母さんが。君は議員になるの？

小泉 それは…はい。母もそう言ってますし。

左道 ふふふふ。

鳴海 …良いですよ。貸してあげましょう。こいつもこう言ってるし。ただ、お金を借りるってことは返さなきゃいけないって事ですからね。

小泉 分かってます。

左道 良かったですね。

田中 (左道に) ありがとうございます。

左道 あたしは別に何も。

鳴海 区議会議員がお母さんだなんて、君も大変だね。相手が大久保じゃね。

小泉 え…。あ、いえ。

鳴海 (紙を渡して) じゃあ、これ。向こうの熊谷って女に渡して、お金貰ったり諸々説明聞いて。100万の利息20%。来月に返して。

田中 え、法定金利って確か、年、29.2%ですよ。

鳴海 そうだね。

田中 あ、来年までの間違いかな？

鳴海 止める？良いよ、別に。

田中 い、いえ！でも。他の人は？

左道 飛び込みで借りれるのもなかなか無いですし。ほら。来月までに20万働けば大丈夫な額ですよ。

田中 ああ、そうですけど…。

小泉 返します。必ず。来月に120万って事ですよ。

鳴海 ちゃんと返してね。

小泉 ありがとうございます。

小泉と田中は書類を持って、部屋を出る。

熊谷に書類を渡し、別室に連れられていく。

鳴海と左道がそれを見ている。

鳴海 助かるよ。

左道 え？何がですか？

鳴海 一緒に居た女の子、お前の笑ってる顔見て安心してた。

左道 そんな事無いと思いますけど。

鳴海 悪魔だね、悪魔的な、金貸し。あ、こういう時に使うのか。

左道 悪魔だなんて。あたしはただ、借りてもらった方が社会的にも良かったのかなとか。

鳴海 そんな事考えてないだろ。ただただ、どうしようもないな…って笑ってたんだろ。それで金貸せて、泥沼にさせて、自分の不幸の穴埋めする。最高の環境だね。

左道 だから…。そんな事考えてませんって。

鳴海 大丈夫だよ、お前より不幸なんて一杯いる。掃いて捨てるほど。わざわざ探して回る必要なんか無い。ゴールドラッシュだ。ゴールドラッシュ。ははははは。

左道 アタシの何を知ってるんですか。

鳴海 いや、これがね、全く驚く程なんにも知らないんだけどさ。お前、ははははは。お前さ、あはははは。

左道 なんですか！

鳴海 ははは。わりーわりー。

左道 …。

鳴海 (一息つく)ふう。エイコに言って。吸い尽くすぞって。あと、22687番調べとい
てって。

左道 22687…神様番号ですか？え、さっきの話は、

鳴海 良いから。言えば分かる。5桁の神様番号。

左道 はい。

左道、去っていく。

鳴海 ははははは。

鳴海は何か笑いのつぼに入ったのか笑っている。

それは狂気のようにも見える。

暗転。

〜第八場〜

明転。

巢鴨と丹波ユウスケがいる。

丹波 いや、別に変わりは無いですよ。

巢鴨 そうなのか。なにかあったら先生に言いなさい。

丹波 はい。

巢鴨 ユウスケが元気そうで良かったよ。

丹波 新しい両親にも良くしてもらってますし。

巢鴨 (店員に) すいません、ユウスケのコップに水なくなっちゃったよ！お姉ちゃん！そこ
の、杉村春子にそっくりな！顔がこうなってる、あ、そうそう、あなた。お水ね。

丹波 ちよっと、先生。

巢鴨 ユウスケ。お前、ノア知ってるか？左道ノア。

丹波 え？

巢鴨 高田馬場に来た事までは分かったんだけどね。

丹波 どうやって？

巢鴨 え？興信所の。

丹波 頼んだんですか？

巢鴨 いや、興信所の真似事をして突き止めた。

丹波 先生が？わざわざ？

巢鴨 才能があった。自分でも驚く程。だけど、そこから先がなあ。元気にしてるのかな。

丹波 だと思えますけど。

巢鴨 知ってるの？

丹波 知りませんよ。ホーム出てから知らないです。(下唇を突き出す)

巢鴨 嘘だ。

丹波 嘘じゃありませんよ(下唇)。

巢鴨 お前、嘘つく時の癖が何にも変わってないな。

丹波 嘘ついてません(下唇)

巢鴨 ふーん。じゃあ、田井中ジロウ君は：知らないか。しかし懐かしいなあ。あ、覚えてる

か？あの、ノート。

丹波 園長先生は、

巢鴨 お父さんって呼んだって良いんだぞ。息子よ。

丹波 …(微妙な顔をして)今日は何しに来たんですか？

巢鴨 違うな。息子もどきだ。だはは。(別の席へ)あ、すいません。様子を見に来たんだよ。

あと、昔、ホームで流行ってたノート。アレ、どこにあるか知らないか？

丹波 ノート？

巢鴨 巢鴨大造ノートだよ。ほら、一緒に読んでたじゃないか(下唇)。

丹波 覚えてません。先生、下唇出てますよ。

巢鴨 (手で唇を直す)：いや、良いんだ。大体見当はついてる。

丹波 え？

巢鴨 私は、良い先生だったか？いやいや、あ、お金はお父さんもどきが払っておこうじゃないか。

丹波 ありがとうございます。先生。

巢鴨、出て行く。

丹波携帯を取り出し。

丹波 もしもし、ノア？…うんうん。いや、実は今、先生に呼び出されて、会ったんだよ。巢鴨の園長。ノアの事気にしてて。うん。…あ、大丈夫。知らないって言うっておいたから。

巢鴨が戻ってくる。

笑顔で携帯を奪つ。

丹波 ちょっとーえ？あー！

巢鴨 もしもし、お電話変わりました。お父さんだよ。…ちょっとノアだろ？なんで黙ってんの。今どこにいいの。…日本の。東京の。それは分かってるよ。うん。あ、じゃ、また番

号確認して連絡するよ。安心して、ちゃんと聞いておくから。やっぱりお父さんは。あれ？…もしもし。もしもし。ハローハロー。切れちゃった。電波悪いのかな。

丹波 いや、さあ。

巢鴨 (ティッシュに番号を書き写し始める) ユウスケ。知ってるんじゃないか。

丹波 なんてティッシュに…。

巢鴨 やっぱ書きにくいなあ。よし。それじゃ、また連絡する。

丹波 あ、はあ。…くそ、風俗でも行ってやるうかな。

丹波が去っていく。

〈第九場〉

ハイテンションファイナンス。

タカミと若松、小泉、大津、田中、熊谷、左道がいる。

若松 それで、うちの真下に出演して欲しいって？

小泉 ただの地域振興で終わるつもりはないんです。

田中 真下さんみたいな本物の女優が出てくれたら映画のクオリティが上がると思っています。

タカミ でも、あたしの芝居見た事無いですよね、カントクは。

大津 バーテンダー宝田のティッセンバー。

若松 え。

大津 僕アレ大好きで、録画して皆に見せてたんですよ。そしたら、田中がここで偶然真下さんに会ったって言うんです。

田中 人の顔を覚えるのが得意で。無理言っつて、この方達にお願いを。

熊谷 うちの最上も出るんです。

タカミ モガーも？

左道 本人は嫌がってましたけど。社長命令で。

タカミ そんなに人が居ないの？大丈夫？その映画。

大津 真下さんは主役です。お願いします。素人に毛の生えたような劇団の人とか集めたんですが、花が無くて。僕の映画には本物の女優が必要なんです。

タカミ 出ましよう。カントク。

若松 おい。

タカミ 良いじゃない、どうせ暇なんですよ、あたし。地域振興するわ。振興！

若松 …嫌らしい話で申し訳ないんだけど、ギャラはあるんでしょうね。

大津 あるよね？

小泉 も、もちろん！3万円くらいで。

若松 それだと、1日だけです。いくらなんでも。

大津 2、3週間は空けてもらわないと。

若松 撮影まで間がないんですよね。負担も大きいので、3週間としても80は最低用意して貰わないと。

小泉 はちじゅ、

大津 良いでしょう。ありがとうございます。

若松 おお、それでしたら！スケジュールは？

田中 ここでは何なので、目の前のジョナサンで。

若松 ジョナサンかあ、良いでしょう。

大津 よーっし、これで撮影開始だ。

タカミ カントク、良いもの、作りましょう！

大津 作っちゃいましょう。

大津、田中、タカミ、若松去っていく。

熊谷 …。

小泉 あの。

熊谷 じゃ、80万追加ですね。(契約書を出し)コレにサインして。こないだも追加がありましたが、したけど、大丈夫ですか？

小泉 うーん。ははは。(考えがまとまらないまま、サインする)

左道 これで返済金額は、

小泉 大丈夫です。ずっと払いますから。賞金で。

左道 獲れますよ。ちゃんとした女優も出るんですから。

小泉 ですよね。

左道 カントクさんも大丈夫って言ってたし。

小泉 ただギヤラが、80万も掛かると思いませんでした。

熊谷 相場なんて分からないもんね。

小泉 …それじゃ、僕も。これで。

小泉去っていく。

熊谷 詰んでるねえ。あの人。

左道 タカミさん喜んでましたけど、最上さん嫌がってましたねえ。

熊谷 社長命令だから。ただの監視でしょ。

左道 アレなんで最上さんだったんでしょうね。

熊谷 理由なんて、無いでしょ。ところで、さっきの電話誰からだったの？

左道 え？

熊谷 何？彼氏？彼女？彼氏？ハゲの彼氏？

左道 弟みたいなのと、お父さんみたいなのです。

熊谷 そういっうプレイかー。

左道 プレイとか止めてください！

熊谷 おお、なんだ？ごめん。

左道 ただの、腐れ縁みたいなもんです。

二人去っていく。

第十場

丹波がやってきて風俗店に入っていく。

擦れ違いで山脇が風俗から出てくる。

西岡社員に写メを撮られる。

西岡社員 あれ、係長。あれ、ここ風俗っすよね。とっ床又キ太郎って。

山脇 西岡…人違いじゃないですか？

西岡社員 無理ある無理ある。係長じゃないっすか！

山脇 大きな声出さないで。

西岡社員 …おい、この写真やっぱり係長だったよ。

場所は会社になる。

社員らが出てくる。

白田社員 ちょっとこれは。最低！。

山脇 いや、ト、トイレを借りに行っただけで。

西岡社員 白田の顔を見てやってくださいよ。

白田社員 (嫌い120%の表情)

山脇 白田君。

白田社員 名前呼ばれた、セクハラだ！

前田社長が現れる。

前田社長 山脇君。ちょっと。君たちも席を外してくれ。

社員達 はい。

西岡社員 社長、ちなみにお店の名前はとっ床又キ太郎です。

前田社長 随分楽しそうな名前だな。

社員らは去っていく。

山脇 社長、いや、これには深い事情が。

前田社長 おい、ハム太郎。

山脇 社長。

前田社長 ハム太郎。なぜだ。君に目をかけてた親父も俺も、顔に泥を塗られたんだぞ。

山脇 社長や先代には感謝しています。

前田社長 奥さんだっているのに。なぜ、風俗なんだ。そんなに風俗は良いのか。風俗ってどん

なんだ。風俗行ってみたい！

山脇 え？

前田社長 ハムスターだからか。ネズミって性欲が強いんだよな、確か。

山脇 ハムスターじゃないですから。

前田社長 ハム脇。

山脇 …はい。本当に申し訳、

前田社長 今月一杯で辞めてくれるか。君が居なくなる事を考えてみたんだが…。別に。うん。

大丈夫かかって。この会社が貧乏工場だった時からだから、随分長く面倒を見てしまったが、係長から上がれない事を考えて欲しい。真剣に。そういう事だから。

山脇 前ちゃん。

前田社長 あだ名で呼ぶな！親父が居た時とは違うんだ。自主退職で良いから。クビよりマシだろ。よろしく頼むよ。

前田社長がいなくなる。

シズカがやってきてハグ。山脇の財布からお金を取り出す。

〜第十一場〜

女がやってきては山脇にハグ。

お金を渡す山脇。

必ず、別れる前に顔を確認するが、希望の顔とは違うようだ。その前で、映画撮影が行われている。

田中 最初のシーンはこのラーメン屋さんです。

全員 よろしく願います。

大津 大学の食堂職員である、ムツミ、あ、真下さんですね。ムツミはここで出会うサラリーマン、武田に出会い恋をします。彼はこの街をラーメン激戦区ではなく、オシャレなイタリアンの街にしようと計画。ムツミの舌に惚れてスカウトするのです。

最上 武田が僕ですね。

森下 あたしは、武田が惚れているヨウコね。イタリアンシェフの。

大津 そう。ただ、ヨウコは武田に興味が無く、武田は失恋。彼を助けるべく、ムツミは仕事を辞め奮闘し、なんと高田馬場をフレンチの街にします。が、イタリアンではなかった事にさらにショックを受けた武田は自殺。好きな男を救う為に奮闘するも、彼を失ったムツミは、ラスト、ヨウコが自殺の原因と考え、中身の無い敵討ちをする、という物語。そんな彼らを、友人や高田馬場町内会の連中が暖かく見守る人情悲劇。人間の深さを描き出しますよ。

小泉 地域振興になるかな。企業の誘致ができるような。

田中 それはこれからでしょ。でもタイトルがなー？

大津 早速テスト行きましよう。ホラ、コイちゃん準備！それじゃ、映画、イオン高田馬場。

シーンー。テスト。ヨーイ。はい！

映画テスト撮り。

タカミと最上が向かい合って座っている。

タカミ なんだか、すいません。相席なんて。

最上 ひ、ひえ(良)いんですよ。まさかこんな混んでるなんて思わなかったですけど。

タカミ あたしも。です。

最上 2時間回ってもこの行列なんて。

タカミ 本当。おっかしい。

最上 …お仕事ですか？

タカミ え？あ、はい。大学の食堂でちょっと。

最上 へえ。あ、僕はそのビルで。

小泉がマイムでラーメンを持ってくる。

小泉 へい、お待ち。

タカミは慣れたように割り箸を割るマイム。

最上は下手なマイム。

そして、胡椒を取り合う。

後ろでは山脇が財布の中のお金を渡し合う。

最上 あ、どうぞどうぞ。

タカミ いえ、どうぞ。

最上 いや、レディーファーストですよ。

タカミ そんな、ここは日本ですよ、おっかしい。

最上 おかしい事なんてありませんや。

大津 カット！良いね。ただ、最上さん。リラックス。

タカミ モガー、緊張しないで。リラックスリラックス。あたしがついてるから。

最上 あ、はい。

大津 でも。なんか良いよ。ノスタルジー感じる。もう一回やろう。準備して！

小泉 あ、ちょっと台詞確認させて。

小泉が、アサヒと共に去る。

最上 すいません、今、箸や胡椒はどこにあるんですか？

田中 予算の都合で、テスト中はマイムにさせてください。今はどこにもありません。

最上 どこにも、ない！？それじゃ、僕出来ないですよ！

最上が逃げ出し、皆で追いかける。

〜第十二場〜

山脇はカードからお金を引き出し女に渡している。
ノリコがやってきて、カードを奪う。

ノリコ どういう事。どうして、あたしのカードからお金が引き出されているの。
山脇 あ。いや、えっと。

ノリコ どこにも無いんだもの。カード。おかげで新作も浮かばないし。

山脇 ごめん。

ノリコ いつから？いつから使ってたの？

山脇 いや、どうかな。

ノリコ 何、どうかなって。え、不思議。不思議な返答。

山脇 ははは。

ノリコ 笑わない。

山脇 すいません。

ノリコ じゃさ、とりあえず、何に使ったの。

山脇 …。

ノリコ このカード、あたしが働いて作ったお金だしさ。自分で労働して作ったお給金様はどうしちゃったのよ。施設出身はやっぱりそうなの？

山脇 やっぱり？

ノリコ …。あなたのお給金は。どこ？

山脇 無いんだ。無い。

ノリコ は？使ったの？

山脇 使っちゃったピョーン。

ノリコ あんたどのタイミングでおどけるの。そこでおどげちゃったらさ、あたしビックリして失禁するわよ。こんなリビングのご真ん中で大の字になって失禁。そのくらいししないとビックリが表現しきれないもの。

山脇 ごめん、ごめん。

ノリコ この万年係長が。自分のプロポーズの責任くらい取りなさいよ。

山脇 …。

ノリコ あはは。プロポーズ。あはは、あの時のあなた、最高に緊張してたね、あはは。あー
(泣き出す)。何してんのよ。

山脇、出て行くうとする。

ノリコ ちょっと、どこ行くの。

山脇 …ちょっと。

ノリコ ありえない。

ノリコ、出て行く。

第十三場

ハイテンションファイナンス。

山脇と鳴海。

鳴海 それで、返済を待って欲しいって？

山脇 はい。お願いします。

鳴海 期限はさ、動かないから期限でしょ。

山脇 バイトしてる仲じゃないですか、一度だけで良いんで。

鳴海 ……

山脇 ……(土下座をしようとする)。

鳴海 バイト、もうしなくて良いや。

山脇 え。

鳴海 そんな事言ってくる奴信じられないし。ま、別に良いんだわ。そろそろとも思ってたかしら。

山脇 ちよっと、いやいや。

鳴海 会社クビになるんならさ、退職金出るだろ。それは全部持って来て。

山脇 いや、あの、嫁にも。

鳴海 嫁と街金、怖いのごっち。

山脇 ……

鳴海 妄想の風俗嬢なんて探すの止めるよ。何かを変えないと。

山脇 妄想じゃない！

鳴海 妄想にしちゃった方が、むしろ良い事は多いよ。

山脇 そう思えたら、どんなに楽かと思えます。でも、触っちゃったんで。どうしようもなく手触りが残ってて。飛び込んだつもりもないのに、不幸がまとわりついていて。じゃあ、この手触りに縋るしかないじゃないですか。

鳴海 ……返済、して下さいね。期限迫ってますから、お客様。

山脇 鳴海さん。

鳴海 お話終了。どうぞ。お引き取りを。

山脇 退職金だつて足りるかどうか。どうしたら。

鳴海 じゃあ…、(机の上にあったハサミを渡す)これ。これあげるよ。聖剣エクスカリバー。え？

鳴海 これで、物々交換してお金作れば？わらしべ長者だ。なんにせよさ、今日が期限って訳じゃないんだから、どうとでもなるなる。ほら、エクスカリバーを持つてる人なんて世界にお前一人だよ。

山脇 ……ありがとうございます。

山脇はハサミをもって去っていく。

偶然、左道が小泉を連れてくる。
ドアの陰に隠れて、左道は山脇からは見えない。

左道 あ、ありがとございました。社長、小泉さん。

鳴海 どうしたんですか。今日は。

小泉 いや、あの。なんていうか言い難いんですけど。また、追加の融資を。

鳴海 …。

小泉 素人が扱ってるもんで、マイク壊しちゃって。ちょっと急ぎ、ご無理をまた言わせてもらって。

鳴海 (左道を見るが、笑っていない。) 駄目だって。

左道 え？

鳴海 小泉君さ、今いくら借りてるか知ってる？

小泉 あ、えっと。200万をちょっとオーバーしたかなって。

鳴海 323万4700円。

小泉 え。

鳴海 ここまで。うちの地域振興もここまで。

小泉 いや、最後です。コレが、最後。

鳴海 じゃあ、今までの返して。そうしたら貸してやるよ。

小泉 …それじゃ映画が。

鳴海 しらねえよ。期限は今月末。323万4700円。キッチリ全額返済をお願いします。

小泉 賞金が500万なんで、まだ。

鳴海 獲れなかったら？その賞金。

小泉 返せません。

鳴海 …そ。じゃ、お母さんだ。

小泉 母は。

キョウコが二人の間の机に立ち、街頭演説をしている。

キョウコ おはようございます、おはようございます。小泉、小泉キョウコでございます。高田馬場の、新宿のキョンキョンです。あ、おばあちゃん、行ってらっしゃい。素敵なおおべべで、うん。今日は改めてこの高田馬場の経済の発展についてお話をしに来ました。いえ、勿論、福祉や教育も大事ですが、それよりも！まずは高田馬場の経済対策を。ここは新宿区です！土地の無駄な活用を避け、新たな企業を誘致！新宿区である事を思い出してください。アし？おばあちゃんお帰りなさい。大丈夫ですか？今転ばれましたよね？送って参りましょう。新宿のキョンキョンただいま、おばあちゃんを送って参ります！

キョウコ去る。

ハイテンションファイナンス。

鳴海 関係ない事無いだろ、お前借りに来たとき、母親の名前出したんだぞ。この事知ったら、また愛してもらえないね。

小泉 …何を言ってる。

鳴海 いや、驚いたんだよ。あの小泉キョウコに子供がいるなんてね。新宿区である事を思い出せって。普通子供がいる政治家は、生活の匂いがしてくるもんだよ。

小泉 母は馬場の発展を、

鳴海 あのお母さんからは、君の匂いがしないんだよ。息子君。

小泉 …。

鳴海 とにかく、金はこれ以上貸せない。分かった？

小泉 …はい。

小泉、去っていく。

鳴海 チツ…。(左道を見る) こうなると笑ってんだもんなあ。

左道 え？

鳴海 ゴールドラッシュか。黄金が見つかりました。

左道 だから、そういうんじゃないですって。

鳴海 カリフォルニアか高田馬場かってくらい黄金が見つかれば、地域振興なんて一発だよなあ。

左道 いつの時代ですか。

鳴海 今だよ。今の馬場に黄金が埋まつてるんだ。一銭の価値もない黄金が。お前にだけ価値のある黄金が。左道。お前、幸せか？

左道 …はい。仕事もさせてもらって、

鳴海 嘘だろ。不幸だ。アタシは不幸だ。かわいそう。そう思ってたんだろ。

左道 そんな。

鳴海 普通だよ。お前は普通。笑っちゃうくらい。良いなあ、どの角度から見ても普通なんだもの。羨ましい。羨ましいけど、俺はお前みたいになんか絶対になりたくない。他人の不幸で自分の不幸を穴埋めするなんて、頭おかしくなる。

左道 アタシが、普通？

鳴海 その穴がさ、自分の本当だったりするのに。あー、本当はこうしたかったのに、とかっていうその欲求がさ。お前はその欲求をただただ食べて太るだけの化け物だよ。でもね、そんな化け物ばかりだから。だから、普通。

左道 アタシは、普通なんかじゃない。普通だったらってどれだけ思ってたかと思うんですか。不幸なんです。

鳴海 不幸って何？

左道 え。

鳴海 不幸って何なの。何をもって不幸って言ってるの？単位はなに？ミリ？センチ？あ、グラム？

左道 そりゃ…円じゃないですか？

鳴海 お金で不幸は買えないよ。そういう、気分をさ、金なんていう直接的な物で計るから、そ

りや皆不幸だって思うんじゃないの。じゃあ、いくら持ってたら幸福で、いくらしかない

左道 今日はやけに絡んで来ますね。

鳴海 お前、区議会議員の息子君の話聞いて、笑わなかっただろ。あいつは、ココで金を借りれ

左道 …。

鳴海 同じだ。そう思ったんだろ。

左道 違う。

鳴海 思ったんだよ。同じ匂いを嗅いだんだ。

左道 違いますって。

鳴海 よーく嗅いでみるって。まだ残り香があるだろ。自分と同じ匂いがどうしたってするだ

左道 あ？

鳴海 …なのに、こんな仕事しちゃって。ま、俺は自分がひねくれてんの分かっているからさ、良

左道 …分かんない。

鳴海 何？

左道 全っ然何言ってるか分からない。あげくに、あたしが嫌いって、何をアタシは今言われて

鳴海 その割には全然お前笑わないだろ。

左道 ちよっと、何言ってるんですか。人の笑顔をむやみやたらにあげつらうくそ細かい男が。

鳴海 誰にも気を遣わないで笑ってみるよ。

左道 はあ？

鳴海 布団が吹っ飛んだ。

左道 うわ。

鳴海 誰も電話にでんわ。

左道 ちよっと、そんな。ドラゴンボール？

鳴海 お田はありましたと、お電話ありました。

左道 (少し笑う) …え。なんでそれ電話してくるの。

鳴海 不細工だなー。…黄金だ。本当の黄金だ！高田馬場でゴールドラッシュだ！写真撮ろう、
写真(携帯電話のカメラ)。

左道 あたしは不幸ですよ！

鳴海 いいや違うね。普通だよ、お前は普通。どいつもこいつも自分を不幸と違ってんだ。

左道 不幸なんだから不幸と、そりゃ思いますでしょ。両親はいないですし、小さい時から施設
で育てられて。夜な夜な変な園長が馬場の話をしてくるんですよ？大っ嫌いだから、ノー

トにね、その先生の嘘の物語書いてやりましたよ。それ見て、皆笑ってんの。チョウウケる、チョウウケーとか言って。チョウウケーって何だ！施設出たって、大学行けない、アルバイトもまともなのは出来ない。変な男ばかり近寄って来る来る。リーゼントリーゼント、歯欠け、歯欠け、坊主。って流れでしたよ。その記念すべき初の坊主男のあだ名は、はい、蝉丸でした。蝉丸の借金の為に風俗、そうだ、風俗だってね、本当は一回行っちゃいました。蝉丸風俗事件。体験入店でそのまま客の相手させられて。その日だけで3人ですよ？蝉丸のせいで。それからそれから、就職だってね、全然上手く行かないの。派遣で入ってもすぐクビ切られて、やっとの思いで就職してみたら、コレが普通だなんて言われて。普通？フツー！チョウウケー！私はね、不幸だったんです。とっても、ズーっと、とっても、不幸だと思うんですよ。だから、幸せになっても良いと思うんですよ。人の不幸を笑ってでも何しても、そろそろ。そろそろ良いじゃないですか。神様から幸せの借金してるんですから。

鳴海

幸せだとか不幸だとかただの気分だ。そんなもの。ズーっと続くもんじゃないんだよ、バーカ。お前が思ってる程、この世の中は面白くありません。

左道

(息をついている) …。

鳴海

普通なんだから、お前は、だから生きるしか無いんだよ。

左道は自分でも気付かないまま泣く。

鳴海

おい。何だ、泣いてるぞ。。

左道

社長。

鳴海

なんだよ。気味が悪いよ。時間だ。閉店です。閉めてから帰るから、ほれ。また明日。

左道はトボトボと去っていく。

鳴海

おもしろえな…気持ちわる。

鳴海は苦笑いしながら電気を消す。

第十四場

山脇がやってくる。

ハサミで物々交換しようとするが、人通りがない。

座り込む山脇。

青年局撮影隊。

大津

今日はこれが最後の撮影です。この映画のラストを先に撮っちゃいます！

田中

もう深夜じゃん。カメラね、ずっと回してるからいつでも大丈夫。

タカミ 皆、最後、頑張りましたよ！

全員 はい！

田中 救われるのはタカミさんの異常なやる気だね。

小泉 そうだね。

田中 どうしたの？

大津 それじゃ、シーン56！ヨーイ…ヨーイ、ヨーイ。

鳴海が出てくる。

立ち止まって携帯をいじっている。

大津 スタート！

山脇 聖剣エクスカリバーはコクヨ製のハサミだった。鳴海さんはいつだって希望をくれる。なのに、僕はダメだ。物物交換に一度も成功しない。最後の希望を無にしてしまった。最後の…。

タカミ ヨウコさん。

森下 ムツミちゃん。

タカミ 武田さんはあなたに殺されたの。

森下 あの人はあなたに殺されたの。コイも仕事も失敗に終わって。

タカミ アタシはイタリアンよりもフレンチに才能があっただけよ！

森下 そんな事で死ぬ男なんて忘れたらどう？

タカミ アタシは彼に希望を持たされ、最後には絶望を渡されました。

森下 最悪な男ね。

タカミ 希望を絶望に入れ替えたのはあなたね。

森下 そんな事知らないわ。

タカミ あなたじゃないといけないの。あなたはアタシの希望をもってるんだから。

山脇は、鳴海を見ている。

鳴海は立ち去る。

映画のラストシーンは全員での60年代風ダンスシーンだった。

山脇の頭の中の台詞がダンスとともに積上って行く。

「最後の希望。つまり、後に残るのは絶望ばかり。」

「この希望を最後にしたのは誰だ。」

「鳴海レイジ。あいつだ。」

「ずっと俺を食い物にしてハメてきた。ハメられてきた。」

「嫌だ嫌だ嫌だ嫌だイヤだイヤだイヤだいやだいやだいやだ。」

「いなくなれば良い、アイツがいなくなれば。」

「いなくなれば、絶望も借金もなくなる。ノリコとも仲直りだ。」

「全部元通りになるんだ。」

「やるしかない。」

「だって、僕の手には聖剣エクスカリバーがあるんだから。」
「これは聖剣だ。絶望を切り開いて、希望を手に入れるんだ。」

鳴海はジュースを買おうとするが、自動販売機の下に硬貨を落とす。

鳴海 おい！100円ー！マジかよー。

鳴海は自販機の下に手を入れるが、なかなか取れない。

鳴海 くそ、もう少し。イッテー！

鳴海の背中には、山脇のハサミが突き立てられた。
だが、腹這いのせいかなかなか顔が見れない鳴海。

鳴海 誰だ！見えない！取れない！ジュース飲めない！

山脇 わ、わ、わ。

鳴海 てめ、山脇か！

ハサミでちょんちょん刺すが、当然致命傷にならない。

合唱が始まる。

最後に勇気を振り絞り、一突き。

鳴海 おまえ、この。。。この。。。やろう。

鳴海が事切れるまで刺す。

大津 カート！最高だよ。最高の絵が撮れた。皆お疲れさまでした！

上から骨壺が落ちて明かりが当たる。

骨壺から声が聞こえてくる。

アナウンサー（ナレ） 昨夜未明、東京都新宿区の戸山公園ソバで一人の男性が殺害されているのが発見されました。持ち物から都内在住で金融業を営む鳴海レイジさん35歳と判明。

警察は犯人の行方を追っています。続いて、海開きのニュースです。現場の和田さん？

和田さん はい、和田です。今日は、こちら、ピッチピチの水着ギャルと申しましょうか。

TVの声が雑音混じりになり、ホワイトノイズに。

呆然とする左道。

暗転。

暗転の中、ノイズは雨の音に変わって行く。

完全に雨の音になるとハイテンションファイナンスだと分かる。事件から数日経ち、葬式も終わったが、犯人は捕まっていない。

室内には熊谷と最上がぼんやり座っている。

左道は音声をヘッドフォンで聞きながらPC操作している。

最上 今更、梅雨ぶり返しですかね。

熊谷 …。

最上 外。外。

熊谷 うるさいな。邪魔しないで。服してんだから。

最上 それ、いつまでですか。

熊谷 分からないわよ。服す期間なんて。

最上 服すわよ、喪に！って宣言したのエイコさんじゃないですか。

熊谷 そうよ。だって、あり得なくない？弔問客がゼロって何？家族も分からないから連絡出来ないし。そうしたらさ、あたし達だけでも喪に服しないと可哀想じゃない。家族みたいなもんだって思ってたさ。

最上 でも、ノアちゃん、Youtube見ちゃってるし。

熊谷 気付いてた？あたしは昨日から気付いてた。

熊谷がヘッドフォンを取る。

左道 あ、あれ？

熊谷 服せよ、喪に！

左道 なんですか突然。

熊谷 Youtube。Youtube。Youtube。Youtube。Youtube。

最上 Youtube見ながら喪に服す？嘘でしょ？って言ってます。

左道 これはただの趣味で。あ、見ます？

熊谷 もう、十分。十分服した。喪、服しましたよ！

最上 エイコさん。

熊谷 会社もどうして良いか分かんないし、弔問客いないし。暇だし、弔問客いないし。会社畳むにしたって、やんなきゃいけない事一杯あんのよ。

左道 畳むって、それじゃ、社長どこにもいなくなっちゃうじゃないですか。

最上 もういいいよ。

左道 そうじゃなくて。あ、そっだ。だったら、犯人探しましょうよ。

最上 警察がやってくれてるから。

左道 警察なんて駄目ですよ。事情聞きにきた警官もやる気なさそうだったし。大体、テレビで2分ですよ。

熊谷 どうしろって言うの。

ドアがノックされる音がする。

最上 はい。

最上がドアを開けると、タカミが現れる。

タカミ ごめんね、遅くなっちゃって。お葬式も行けなかったし、とりあえずお線香を。

熊谷 タカミさん、第一号です。

タカミ は？

熊谷 おめでとございます。あなたが弔問第一号です！

最上 ヒューー！

タカミ (最上を睨む)

熊谷 遺影に使った写真、さし上げます。(写真は凄い不機嫌な顔の鳴海)

タカミ 複雑。

左道 タカミさん、ここ閉店するかもしれないって。どう思います？言ってやってくださいよ。

熊谷 まだ、決まった訳じゃ、

タカミ そりゃそうじゃない？残念だけど。

左道 え。

タカミ レイジでもってたようなモンでしょ、街金なんてあっち系こっち系しがらみすぎின்றるうし。

左道 そうかもしれないですけど。

タカミ ねねね、本当に誰も来てないの？

最上 本当です。

タカミ 家族は？

熊谷 もしいたらあたし達で葬式なんてやらないですよ。

タカミ (笑いつつ) そりゃそうだ！これは不幸だね。お金で計るよりよっぽど納得できる。

最上 (笑いつつ) 思いつきり不幸ですよね。弔問客ゼロ。

熊谷 (笑いつつ) 逆に見事。見事な不幸。

左道 (笑わない) 分かりやすいくらい不幸。

タカミ レイジがないんじゃないや全然違う場所になるね。

熊谷 あの人、変でしたからね。

タカミ 色々分かってるくせに、何にもしないってのが、またね。色々こっちまで分からせちゃうのよ。

最上 あー、そうですそうです。だから、なんか楽なんですよね。

タカミ 楽だけど、怖くもあつたよ。まっ裸にさせられるっていうかさ。

左道が骨壺をもって外に出て行く。

最上 ノアちゃん。

タカミ 何あれ、どうしたの？

熊谷 なんかわるなんですよ。

タカミ それは元々じゃない？あはは。さ、お線香お線香。

最上 あ、どうぞここで…。あれ、骨壺は？

熊谷 え？アレ？どこ行った？おーい！

タカミ 誰に呼びかけてんのよ。

最上 ノアちゃんが？

タカミ あたしは何に向かってお線香あげたら良いの？

熊谷 とりあえず、二人とも、追いかけて！

タカミ あたしも！？

熊谷 お線香あげられませんよ！？

タカミ 分かったわよ。分からないけど！

二人出て行くこうとする。

最上 あ、そうだ。タカミさん、聞きました？映画の話。

タカミ ちょ。なんで今このタイミングで。

最上 撮った映画、警察に没収されるかもって。

タカミ (ドアに挟まって) ギャー。一世一代の映画なのよ。公開してもらわないと！行くわよ！

熊谷 ちよっと、どちらへ？

タカミ そりゃ、カントク達のところでしょ。

熊谷 骨壺は！？

タカミ 探すわよ。探しながら、カントクのとこ行きながら、たまにコンビニで涼んだりしながら、行くのよ！

熊谷 じゃあ、あんたは、小泉シンに返済期限が迫ってるって伝えて。

最上 でも、会社は。

熊谷 アタシ達の退職金よ。分かった？

タカミ 骨壺映画はどこだ！(去っていく)

最上 既にごっちゃだ。あれ、エイコさんは何するんですか？

熊谷 アタシは司令官だから、ここで、皆の連絡を待つ。座ってね。

二人は頷き合い、最上は座ろうとする。

熊谷 あんたは探すの！

最上 ええー。

最上 去っていく。

熊谷 なんか：なんなんだ、あいつ。とりあえず、お茶だ。

熊谷去る。
雨音が激しくなる。

第十六場

青年局。

小泉キョウコとシンがやってくる。

キョウコ もうこれっきりにしてよ。警察沙汰なんて。

小泉 ごめん。

キョウコ あんたの経歴にも傷がつくし。

小泉 まさか没収されるとは思わなかった。

キョウコ 捜査資料として言ってたけど、本当に何にもしてないのよね？

小泉 たまたま事件現場のソバで撮影してただけだよ。母さんに頼んでちゃんと許可を取ったのが裏目に。

キョウコ あたしのせい？

小泉 そ、そういう訳じゃないけど。

キョウコ 区議会議員だって、結局人気商売だからね。気をつけないといけないのに、全く。

大津、田中、森下がやってくる。

田中 あ、コイちゃん。どうだった…とー、こんにちわ。

キョウコ あら、八百屋の。マキちゃんだ。えっと、そっちは、スーパーの。森下さんこの、

ねえ。えっとー、じゃあ。このおじさんは？

大津 おじさんって。大津…。

キョウコ 大津、大津カメラ？え、2丁目の？あー、大津さんこの。やす、やす…、安っぽい名前の。

大津 ヤスジロウです。

キョウコ 大津ヤスジロウ君。覚えてた覚えてた。商店街の事忘れた時ないもの。

田中 コイちゃん、映画は？

小泉 没収された。

大津 俺の映画が。

キョウコ ヤスジロウ君が監督なの、アレ？

大津 はい。

キョウコ あらーそうなんだ。凄いわね。お父さん言ってたわよ。映画学校すら卒業できなくて未だに油売ってる、バイトもしないで家でも継いでくれればって。じゃあ、映画処女作

だ！お父さんも喜ぶわよ。

大津 …親父が。言っていましたか。
森下 嘘。

田中 嘘でしょ。

キョウコ 嘘じゃないわよ。感心しちゃった。ヤス君、出来る子なんだなあ。エライ。

小泉 …。

森下 初めての映画？

大津 いやいやー撮った事あるよ。学校の課題で。ショートフィルムだけど。

田中 30分くらいの？

大津 3分の。

森下 10分のー！？

大津 い、良いじゃないか、ここまで撮れたんだから。イオン高田馬場が完成しないのは俺のせいじゃない。

キョウコ イオン高田馬場、無いしね。

大津 そこがアヴァンギャルドじゃないっすか。

キョウコ アヴァ？いや、それちょっと分かんないけど。別に面白くなかったよ。

大津 見てから言ってみなさい。

キョウコ 没収前にちよっと見たけどね。

小泉 途中までとは言え、撮影に協力してもらったし、地域振興出来たよ母さん。

キョウコ 地域振興？お披露目してないのに？

小泉 …。

キョウコ 何？

小泉 そうじゃなくて、でも、映画撮れたんだよ。

キョウコ うん。

小泉 (皆を気にして) …。

キョウコ 何？

小泉 …どうだった？

キョウコ 最後踊って、インドの映画みたいだったなって。あ、インド振興はしてたのかな。

小泉 …どう、だった。

キョウコ 何よ。あんた。どうしたの。

小泉 どう？ぼ…。

田中 コイちゃん。

小泉 …いや。

キョウコの携帯が鳴る。

キョウコ (名前を見て) あら！ (出る) はいもしもし。小泉です。どうしたんですか高柳先生。今？暇です。暇です。大した話なんてしてませんし。ええ、本当ですか？今から伺います。はい。では、後ほど。やだ、先生ったら。失礼します。(切る) じゃ、なんか分からないけど、頑張ってるね。

キョウコ去っていく。

大津 いやあ、映画祭に間に合わないねー。

森下 あたしの女優デビューが。

大津 良い演技してたよ。

森下 この人ただのフリーターだったー。

小泉 なんて。

田中 ん？

小泉 なんて平気なの？ここ何週間か頑張ってたのがさ、何にも結果が出なくてなんで平気なの？データが全部無いんだよ？

森下 ふっふっふ。それがですねえ、

小泉 本当、中途半端。俺たち皆中途半端だよ。俺も！皆も！家業を継ぐでもないし、働くでもない。

田中 コイちゃん。

小泉 舐め合う事はしなくせに、ここだと皆同じ傷持ってるから、傷だって思わなくなってるだけなんだよ。

大津 どうしちゃったの？

田中 褒められたかったんでしょ。

小泉 …。

田中 コイちゃん。分かるけど。アタシ達、関係ないよ。

小泉 皆だつてさ、映画作ったらなんか、良いキツカケっていうか、そういうのだったでしょ。少しはさ、くやしがれよ。くやしがれなきゃさ、なんか色んな事が嘘だったみたいじゃん。俺たちはさ、一緒だから、一緒に悔しがらないと、それ嘘じゃん。

森下 …一緒じゃないよ。

小泉 え？

骨壺を持った左道が通りかかる。
携帯が鳴り、電話に出る。

左道 はい。あ…先生。…いえ。え、今からですか？いや、あ…：はい。

左道 去って行く。

タカミと最上がやってくる。

田中 あ。

タカミ ちよっと、話聞いたわよ。っていうか、アタシにも連絡してよ。

田中 若松さんにはしたんですけど。

タカミ いや、直接ね、(電話が鳴る)ちよっと待ってて。(出る)はい、もしもし。いや、骨壺は見つかってないから、映画の方に。ながらね、ながら。探しながら映画の話するか。はいはい、また。(切って、最上に)エイコちゃん。

最上 ああ。

タカミ あのさ、とりあえず、骨壺知らない？

森下 知りませんけど。

タカミ だよ、でね（電話が鳴る）今日のあたしなんか凄くない！（出る）マチヤピコ？何よ。今ちょっと…。いや、なんか映画がさ。…あ、そう。え？今から？良いけど。…うん。はい。分かった。（切る）今日アタシなんか凄い確変起きてる。

最上 映画どうなったんですか？

小泉 全部、没収されました。

タカミ カントクー。

森下 その人、ただのフリーターだから。

タカミ え？本当だ。ただのおっさんだ。

大津 なんて事を言うんですか。

タカミ とにかく、ちょっと急用出来ちゃったから帰るけど。あとはこの最上リクがアタシの言いたい事全部話すから。

森下 あ、タカミちゃん。

タカミ 何？

森下 ごめんね。

タカミ アサヒ。あんたは良い子ね。

森下 ううん、そうじゃなくて、ごめんね。

タカミ …よく分かんないけど、何かあったら連絡頂戴。

タカミ去って行く。

森下はPCを触り出す。

最上 忙しいな、あの人。

田中 あの、最上さん、なので申し訳ないんだけど、映画は。

最上 あ、僕は別に。むしろ別の用事が小泉君に。返済。分かってるよね。

小泉 社長、亡くなったんですよね。

最上 だからって借金は無くないからさ。これ、当たり前ね。

小泉 …。

大津 何の話？

田中 映画の費用、どっから出てたと思ってんですか。

最上 返してくれさえすればさ、別に良い訳だから。仲間も居る訳でしょ。

小泉 …あのさ。

森下 一緒じゃないんだって。なんか勘違いしてんなーって思ってたけど、議員の子供と、スパーの子供、一緒な訳ないじゃん。これだって当たり前ね。

小泉 アサヒ。マキちゃん。

田中 なんとかしてあげたいけど、出来ない事もあるからさ。

小泉が周りを見るが、皆そっぽを向く。

森下 なんだ、まだ17回しか再生されてないや。

大津 え？あ！

森下 あたし、家で作業をと思って、少しパソコンにコピーしていたんですよ。このままお蔵入りも勿体ないじゃないですか。で、ネットにアップしちゃった。

大津 何やってんの。

森下 え。ダメ？さつき、タカミちゃんには謝っておきましたよ？

田中 そのごめんなさいだったの。

最上 ちよつとちよつと。こっちの話は？

森下 ……捜査資料って、何か映っちゃってるなら警察よりも先に見つけてやりたいじゃないですか。

田中 ちよつとあたし達の声も入っちゃってるー！

小泉 マキちゃん。

田中 コイちゃんも。見てよ、これ。

小泉 (全員の集まりに近づいて行く) ……この時さ、真下さん、全然台詞喋れなくてさ。テイク18くらいまで行ったよね。

大津 あのさ、撮影中に整形した？顔変わったよね？

全員 はいはいはい。

小泉 完全に整形でしょー！

青年局の面々は笑う。

最上 おいおい。ちよつと。良いのかい、それで。

青年局の面々は笑う。

最上 ダメだ、こいつら。だから、ダメだ。こいつら。

全員去る。

第十七場

佐藤家。巢鴨が上がる

左道 すいません、何にも無いですけど。

巢鴨 おかまいなく。いや、本当、ひっそりぶりだね。

左道 先生。

巢鴨 お父さんと呼んでも良いんだよ。暑いなあ。

左道 あ、今麦茶でも。

巢鴨 麦茶は結構。ジャスミンティーを。

左道 ありませんよ。そんなの。

巢鴨 出されても飲みませんよ、そんなもの。だははは。今何やってんの。

左道 働いてます。

巢鴨 んー(辺りを見回す)

左道 何しにきたんですか。

巢鴨 ノアが、元気がどうか。気になって様子を見に来たんだよ。

左道 …ちよつと、トイレ。

巢鴨 え？(立ち上がるうとする)

左道 ついて来なくて良いですから。…その場から動かないでくださいよ。

巢鴨 分かった。

左道、トイレに出て行く。

巢鴨は特に抵抗もなく物色を始める。

巢鴨

あーあー、きつたないなあ。片付け苦手だったもんなあ。何にも変わってない。(下着を見つけて)あ。あーあーあー。(ブラを付ける)あーあーあー。やだ、フィットする。…えっと、C?嘘付けい。雑誌もこんなに。

探している中で何かを探す様に真面目になっていく巢鴨。

トイレの音がして、左道が帰ってくる。

巢鴨は急いで元の位置へ、ただ上手くはいかない。

左道 動きましたね。

巢鴨 いいえ。

左道 …ちよつと嘘でしょ。ブラジャー！

巢鴨 どうしても聞きたい事がある。

左道 なんですか。脱いで。

巢鴨 (セクシーに脱ぎながら)君は、アレか本当にCカップもあるのか。

左道 何しにきたんですか、本当。アタシは元気。コレでいいでしょ。帰って！

巢鴨 分かった、帰るよ帰る。でさ。どこにあるの。

左道 何がですか。

巢鴨 ノート。君が持つてるんだろ。

左道らとは離れたところで、ノリコがPCを操作している。

山脇がやってくる。

山脇 …ノリコ。

ノリコ 何。

山脇 ご飯は？

ノリコ カップラーメンがあるわよ。

山脇 ノリコは？

ノリコ あたしはもう食べた。

山脇 …そう。

ノリコ 今話しかけないで、新作の記事書いてるから。

山脇 うん。

二組が近づいて行く。

左道 ノートってなんですか。

巢鴨 私の事を書いた、田井中君が始めたあのノートだよ。

左道 田井中。

巢鴨 次の書き手は君だろ？子供ウチで流行ったゲームみたいなもんだろうけどさ、私の事書いてるって聞いたたら、どうしても気になって。やってきちゃいましたよ。

山脇 昔さ、施設、居た時にさ、俺が始めた事があって。

ノリコ (いっさいジロウを見ない) そう。

山脇 覚えてるかな。ほら、夜な夜な子守唄代わりに高田馬場の決闘っていう話をしてくる巢鴨先生。嫌いだっただからさ、勝手な妄想をノートに書いたの。先生は童貞でロリコンだ、とか。そうしたら流行ったんだよその巢鴨ノートが。

ノリコ …何？

また近づく二組。

同じ空間に居るかのよう。

巢鴨 私の話なんだろ？巢鴨ノート。見せておくれよ。

左道 知りませんで。

巢鴨 読みたいんだよ。そこにあるのはさ、私の評価じゃないか。子供達が私の事をどう思っていたか。きっと可愛くて素敵な思いがわんさか。わんさかだよきっと。

左道 あのノートには、一つも面白いなんてありませんよ。

山脇 手伝うよ。俺は流行を作った男だよ？

ノリコ 子供の流行でしょ。

山脇 いや、俺のノートが面白くて、

ノリコ 本当に面白かったの？そのなんちゃら先生を褒めたりけなしたり。

山脇 褒めたりはしてない。

ノリコ どっちでも良いわよ。

巢鴨 面白いに決まってる。

ノリコ どうせ面白くないんだから。

山脇 妄想でもその罵倒は本当なんだ。

ノリコ あたし、そのノートに全然興味がないの。

巢鴨 可愛くて素敵な思いがさ、私を待ってる。

山脇 本気で嫌いだったんだ。

左道 アタシは知りませんよ。

巢鴨 そんな。あるはずだ。ノートが無くなった時期と君が卒業した時期が一緒なんだ。それともアレか。私の人気に嫉妬してるかな？大丈夫だ。ノア。君は娘もどきなんだから。

ノリコ 黙って自分の仕事をしてなさいよ。

山脇 うん、でも、二人で。

ノリコ あなたの助けなんていららないの。

山脇 …うん。なんだ。ちょっと出てくる。

ノリコ 何急に？

山脇 仕事だよ。

山脇去って行く。

ノリコ 気持ち悪い。

ノリコも去る。

左道 うちには、無いですよ。

巢鴨 捨てたのか。

左道 …。

巢鴨 (すぐる様に) ね、ね、お願いだよ。私が何十年とやって来た事の評価がそこにあるんだ。まるで閻魔帳だよ。なあ、読みたいんだ。

左道 なーんだ。(鼻で笑う) なんでそんなに？

巢鴨 そんなの、誰かに生きていて良かったって言って欲しいからにきまってるんじゃない。

左道がノートを取り出す。

左道 どうぞ。

巢鴨 お…。

左道 こんな物が閻魔帳だって言っただったら、持って行ったら？言っとくけど、ここにあるのは面白くもない子供の本当があるだけ。

巢鴨 …。

左道 ホラ、受け取りなさいよ。

巢鴨 やっぱり君が持っていたのか。

左道 あたしだってなんでこんな物捨てずに持っていたのか分からない。でも、どうしても捨てられなかった。コレは、アタシが本当と向き合ってた事があるって唯一の証拠、そんな気がするの。

巢鴨 君の本当？

左道 いらぬなら目の前で破り捨てるけど？

巢鴨：（受け取る）。ノア、笑わなくなったね。あの頃の君は良く笑っていたよ。
左道 面白くなかったら、笑わなくても良いんだって。先生、さようなら。

巢鴨 去っていく。

左道はPCでYouTubeを見だす。

操作が出来なくなり、頭を抱える左道。

〜第18場〜

森下と大津がやってきてPCを確認する。

大津 いや、ホームアローンは3が一番良いんだって。まずマコーレカルキンが出てなくて…あれ。

森下 なんですか？

大津 いや、ホラ。再生数上がってない？

森下 本当だ。え、面白いのかな。イオン高田馬場。

森下・大津 ないないない。

森下がPCを操作する。

声が聞こえる。

大津ナレ 今日これが最後の撮影です。この映画のラストを先に撮っちゃいます！

田中ナレ もう夜じゃん。カメラね、ずっと回してるからいつでも大丈夫。

タカミナレ 皆、最後、頑張りましょう！

タカミと若松がいる。

タカミ どういう事？

若松 だから、オフィス若松って事務所を立ち上げたの。マネージャー辞めたんだ。

タカミ へ、へえー。

若松 良い役者を探してるんだけどね。

タカミ ん？あ、そうか。んーそこまで言うなら。うん、二人で頑張ろう。

若松 あのさ、タカミちゃん、借金どうやって返してたの？先生って誰？

タカミ 松田先生の事？

若松 何党の人？

タカミ え？何党っていうか、元小学校の教師？

若松 教師？

タカミ ずっと実家の山を管理してくれてね。山売って返済。でももう残り少なくなって来ちゃった。

若松 政治家は？俺のパトロンは？

タカミ 阿部、阿部総理？

若松 バカだったー。

タカミ 何よ。

若松 パトロン！パトロン！パトロン！

タカミ 怖い怖い怖い。

若松 パトロンなんていらなーい！もう良い！今日で最後だから、後は野となつて山となつて松

田先生に売られてね。

タカミ オフィス若松の一員でしょ。

若松 違いますよ。

タカミ だって、え？アタシ、アタシはどうなるの？うすぐ売れるよ？売れちゃうよ？努力してるし。

若松 (笑って) 努力って整形の事？

タカミ …。

若松 一つ教えてあげるけど、見た目が完璧に綺麗な物なんて売れないんだよ。隙間こそ大事なのに、それを自分で埋めちゃってんだもんー。…愛嬌だよ、愛嬌。愛嬌が世界を救うんだ。

タカミ だったら、なんで教えてくれなかったの。

若松 君がそういう、人だからじゃない。ねえ。芸能界って怖いね。

タカミ 映画完成さえしたら、アタシだって。

若松 ソレ見たら分かるよ。例えば、もしあの映画が話題になったとしてもね、君を見ての事じゃない。多分、そこに映ってる何か別の物を見てるんだ。

若松 去っていく。

気付くと、舞台上には色んな人が映画を再生して見ている。

田中 何コレ、なんか凄い勢いで、色んなところに勝手にUPされてる。

小泉 映画、人気出るんじゃない？

田中 違うみたい。

映像の音が聞こえてくる。

カントク達の声も聞こえる。

タカミナレ 成功を収めたのに、アタシの手には空しさしかなかった。

森下ナレ 空しさ？

大津 良いぞ、タカミさんいけ！

田中 今度は噛まないでよ。

タカミナレ 希望を絶望に入れ替えたのはあなたね。

森下ナレ そんな事知らないわ。アタシは、何もしていない。

小泉 ダンスだ、ダンス。準備して！

大津 再生数が100万回越えちゃうぞ！？

タカミナレ あなたじゃないといけないの。あなたはアタシの希望をもってるんだから。

映画撮影の声が聞こえる中、鳴海が殺されている姿が俯瞰で捉えられる。

それを見ている、左道。突如走り去る。

息絶えている鳴海、彼を死体にした山脇。

すぐそばに、ノリコがやってくる。

山脇 わ！

ノリコ 何驚いてんのよ。

山脇 何？

ノリコ あんた会社は？

山脇 え？あー、あ、今有給なんだ。

ノリコ クビになったんだって？電話があつたのよ。なんで話さないの。

山脇 …。会社、クビになった。

ノリコ 遅い。

山脇 話しくくて。

ノリコ 何やってんの？何やってんの？全然理解出来ない。それと、コレ。

ノリコが手紙を渡す。

山脇 (手紙を見て) 見た？

ノリコ 当たり前じゃない。なんなの、借金の督促って。理解出来ないの衝撃が強すぎて、今日もうね、アタシ、ブログ3本もアップしちゃったわよ。あんたの用意したサプライズが、

どうでも良い奇跡を起こしちゃった。返して、あたしの奇跡。

山脇 返すって、どうやって。

ノリコ ご自分でお考えになったらどう？…退職金は？

山脇 …。

ノリコ 使ったの。何に？

山脇 えっと、いやあ。

ノリコ …うん。言えない事だね。それが一番理解出来た。あんたはアタシを騙してたんだ。

山脇 騙してたって。

ノリコ 知ってた？アタシ達ね、理想の夫婦だっと思われてんのよ、ご近所に。静かな旦那さんに、やりたい事を出来るアタシ。お互いの仕事も上手くいって、幸せなもの。羨ましがられちゃってんのよ、アタシ達。それが。施設出身で嫁のお金を使い込む旦那。しかも借金まで。アタシがそうさせてんの？アタシがそうさせてるんだったら、謝るけどさ。アタシ、悪いところ見当たらないのよ。だからさ、アタシ何をどうしたら良いか分からないの。

山脇 僕が悪い。

ノリコ そうなのよ。そんな事は分かっているの。でもね、そう思い切れないから困ってんのよ。なんなのよ、どうなっちゃってんのアタシは。

山脇 ごめん。

山脇 出て行こうとする。

ノリコ ちょっと！今度出て行くのは、あたしの番だから。

ノリコ が代わりに出て行く。

左道 がやって来て、鳴海の死んだ自動販売機の前で横たわる。入れ替わる様に鳴海はそれを見ている。

左道 コレは社長が最後に見た景色。道の途中、自動販売機のソバで。どこにでもある、どうしようもない景色だ。なんでこんな…、自動販売機の明かりに寄って行く虫みたいじゃない。空はこんな時間でもまるで冬の空の様に高いのに。月は、いつも勝手に照らされる。月の気持ちなんて誰も考えてくれない。綺麗だね。満月だね。元気だね。三日月だね。あたしはいつも新月だ。勝手に照らさないで。お願い。勝手な思いで、勝手に照らさないで。勝手にアタシに触らないで。お願い。

山脇 僕は、なんで彼女を忘れられないんだろう。(去る)

左道 あ、百円みーつけ。社長が居なくなった場所で、百円。社長を売ったら百円貰えました。どうしようもないなあ。安い！あの怖い人、百円。タイムセールで88円くらい？鳴海レイジ豊作につき、1個88円です！ははは。この百円返すから、社長返って来ないかな。クーリングオフしたい。死んじやった事クーリングオフ出来ないかな。あれ、8日間だっけ。あ、じゃあ、ダメか。クーリングオフだめか…。なんだ？

百円を見つけてもらい、鳴海は成仏する。

左道は自動販売機の下を覗き込む。

左道 (手で触りながら) 2、4、8、…。248、あ違う。6だ。246…。あと二文字？二桁？全部で5桁…。全部で5桁。全部で5桁！

左道は走って去っていく。

〜第19場〜

督促状を持ったノリコがやってくる。

そこへ、小泉キョウコも封筒を持って現れる。

キョウコ あら、ノリコさん。

ノリコ あ、小泉の奥様。こんにちわ。

少しの間の後、二人とも何か笑って誤摩化す。

ノリコ それじゃ。

キョウコ 本出たんですって？

ノリコ おかげ様で。持ってきたでしょうか？

キョウコ いえ結構。あたしにはクックパッドがあるんで。良いなー、クックパッド！何でも

載ってる。

ノリコ …良かったですねー。

キョウコ 良いわね。ノリコさんは。好きな事やって成功して人気者。

ノリコ 人気者だなんてそんな。

キョウコ うーらやーましいー。あらやだ、思わず。

ノリコ 奥様こそ十分人気じゃないですか。選挙に勝ってるんだし。

キョウコ だったらどうして？アタシは小泉の奥様なんて固い感じで呼ばれて。あなたはノリ

ちゃんって。なんならどうぞ、キョンキョンって呼んでみて。

ノリコ それは、小泉今日子さんの持ち物だから。

キョウコ アタシ、小泉キョウコですけど。

ノリコ あなたじゃない小泉キョウコの。

キョウコ 差別！小泉キョウコ差別！

ノリコ メンドクサイ。ごめんなさい。用事があるので。

キョウコ 逃げる気？勝ち逃げ？アタシは馬場のキョンキョンなんて相手にしないのよってか？

ノリコ 別に逃げてないじゃないですか。

キョウコ 本当いけ好かない女よ。あんたは。旦那さんが静かなのは、あんたが良く喋るからで

しょ。家には癒しが必要なのよ。

ノリコ …離婚して旦那さんの居ない人に言われたくない。

キョウコ 離婚調停中ですー。

ノリコ 子持ちのバツイチなんて、結局負け組なのよ。

キョウコ 選挙には勝ってますー。

ノリコ 子供だつてないがしろにしてんでしょ、どうせ。

キョウコ こ、こ、こ、子供の居ない人に言われたくないわ！

ノリコ うるさい。顔がうるさいのよね。あと眉毛もうるさい。もう邪魔。どいて。

キョウコ アタシだつて出かけんの。邪魔しないで。

ノリコ あなたが声掛けてきたんじゃない。

キョウコ そうだったかしら？それはゴメンナサイ。

ノリコ ついて来ないでよ。

キョウコ じゃ、どいて。(ハケ口に詰まる) ちょっと狭い。ギュッギュッ！

ノリコ 痛い痛い！ギュッギュッってなってるー譲りなさいよ。

キョウコ どうして譲らないといけないの。

ノリコ この道はあたし専用です。

キョウコ なんだって！？そんな話聞いた事ない！(ノリコはハケている) あ！騙された！

二人、去っていく。

〜第20場〜

ハイテンションファイナンス。

熊谷がお茶を持って入ってくる。

椅子を一つ眺めながらお茶を飲もうとするが、暫くブクブク吹いている。

左道が帰ってくる。

左道 24、246…。

熊谷 (ブクブクを強めにしながら手を上げる)。

左道 どうも。

熊谷 (ブクブクを弱めて手を下げる)。

左道 (資料を探す) 248、あれ? 248…違う違う。246だ、246。

熊谷 何探してんの?

左道 …。

熊谷 アタシも探してるのあるんだけどな。

左道 そうですか。

熊谷 骨壺。あんなモン持ってってどうすんの? 海にでも撒くの?

左道 …。

熊谷 あんたさ、笑わなくなったよね。社長がいなくなって。変な動画見たって、神様の困った顔見たって、笑わないし。

左道 笑う必要がなくなっただけです。あたし、普通なんですって。

熊谷 普通?

左道 社長がそう言ってたんです。ついでに、アタシの事嫌いだって。

熊谷 何それ。

左道 告白、ですかね。

熊谷 それを告白って言葉で片付ける? あんたも相当ね。え? 待って。そんな事言われたのに犯人探すすんの? なんで? 何か意味あんの?

左道 意味なんて無いんじゃないですか。そうしたいだけです。

熊谷 意味ない事やってどうすんの? 社長は、…なんか、あんなっちゃってるし。

左道 死んだんです、社長は。死んだんですよ。エイコさんは本当に分かってるんですか?

熊谷 …骨壺は? さっさと埋葬して終わりにした方が良いじゃん。それが普通でしょ。

外から声が聞こえてくる。

ノリコ どこまでついてくるんですか。

キョウコ そっくりそのままお返しするわ。

ノリコ お返しされても困るんですけど。

キョウコ あたしはここに用事なの。…嘘でしょ?

ノリコ 同じ場所に用事!?

熊谷がドアを開ける。

ノリコ・キョウコ あ。

熊谷 何か用ですか？

ノリコ 用って言えば、用ですけど。

キョウコ でも、そんな大事な用事じゃないから。

ノリコ 大事な用事なんでしょ？

熊谷 …とりあえずどうぞ。ノアちゃん、お茶を。

ノアは返事をせず、お茶の用意に出て行く。

熊谷 で、何ですか？小泉さんと…お友達？

ノリコ アタシ、山脇ジロウの妻です。

熊谷 山脇さんの。へえー。で？何ですか？

ノリコ・キョウコ …(手紙を机に叩き付け) コレはどういう物なんですか？え、奥さんも？

キョウコ う、うちは息子が。

ノリコ ウチは旦那なんですけど。

熊谷 督促状ですね。(小泉の封筒の名前を見て) あ、息子さんの方？

キョウコ 薄々思ってたけど、同じところで、借金？

ノリコ ここは一時休戦と行きませんか？

キョウコ いや、共闘といきましょう。

左道がお茶を持ってくる。

二人は、左道がお茶を置く前に立ち上がってコップを奪い、飲む。

二人がコップを振り回す度に少し残ったお茶が熊谷に降り掛かる。

キョウコ コレ、随分法外な利子じゃありませんか？

熊谷 冷たい。

ノリコ そうよ、おかしい。街金なんてそういう事なのよね。

キョウコ 出るところに出たら、お宅も困るんじゃないですか？

ノリコ 私、弁護士の知り合いが居るんです。

熊谷 ちよっと！お茶溢れてるから！

ノリコ あ、すいません。

キョウコ ごめんなさい。

熊谷 ノア、ティッシュ取って。(吹きながら) で？何でしたっけ？

キョウコ ですから。法に則った金利にして頂かないと。

ノリコ そもそも。無理な貸し付けもあったんじゃないですか？

熊谷 溢れてるって！勉強して。言いたい事は伺いました。じゃあ、お帰りを。

キョウコ 何にも分かって無いじゃない！

熊谷 そちらが弁護士を盾にするなら、ウチにも考えがありますよ。
キョウコ 出た。脅しだわ。

熊谷 とんでもない！脅したりなんてしませんよ。ただ、アタシ達も雑誌の記者さんと仲良くさせてもらってましてね。勿論個人情報の保護はしてますよ。でも、…ノアちゃん、勤めてどのくらいだったけ？

左道 まだ、半年も経ってません。

鳴海が出てくる。

鳴海・熊谷 まだ新入社員だね。いや、何が言いたいかって言うんですけどね、

熊谷は自分が鳴海のように喋っている事に驚いている。

鳴海が喋るが現実には熊谷が喋っている。

ゆっくりと入れ替わり、鳴海のように喋る自分を見る熊谷。

鳴海 アタシは良いんですよ。ただ新入社員ってまだガードが緩いって言うんですか。お酒飲まされたりすると思わず口にしちゃうんですよ。

ノリコ 何を話すって言うの？

鳴海 そりゃ、記事になりそうな事でしょう。

キョウコ …。

ノリコ アタシは別に、何も無いわ、そんな物。

鳴海 山脇ノリコさん。サイン下さいよ（ノリコの本を取り出す）。アタシ、あなたのファンなんです。

ノリコ …小泉さん。

キョウコ アタシはちよっと、居ない物と思って。

ノリコ 共闘はどこに行っちゃったの？

鳴海 （資料を持ち）22687番。小泉キョウコ。あれ、同じ名前だわ。

キョウコ ちよっと、えっと。

鳴海 出ますよ。あなたの名前も。金額も。あの人にいくら渡していたかも。

キョウコ （ノリコに）急に高柳先生が必要だって言うから。

ノリコ 高柳って民自党の？え？奥様自身も借金を？

キョウコ あわわわわわ。

鳴海 ジロウさんが女にお金使ってるって広まったら大変ですよね。

ノリコ 女。何？女に使ってる？

鳴海 あら、知らなかった？あらあらあら。どうしましょう。ノアちゃん、どうしよう。

左道 浮気と思われちゃ可哀想ですよ。

ノリコ 浮気？

鳴海 浮気じゃないですよ。ただね、探してるんですって。一回しか会った事のない風俗嬢を色んなお店で。カリスマお料理ブロガーの旦那さんが。

ノリコ 風俗。

鳴海 内緒ですよ。

自分が鳴海のように喋っている事に驚く熊谷。
周りの音が聞こえないが、自分を見つめる熊谷の目には鳴海が見える。

ノリコ (口パク) 内緒です。(キョウウコに) いや、内緒ですよ。

キョウウコ (口パク) ええ、分かっています。分かっていますでしょ？

ノリコ (口パク) 勿論です。だって、大体そもそもなんか本当かも分からないし。

キョウウコ (口パク) そうねそうね。アタシのも本当かどうか。アタシのは本当だー。

ノリコ (口パク) 奥様、大丈夫。私言わないわ。

キョウウコ (口パク) 私たちは言わないから、あなた達も…。

キョウウコの大声が聞こえる。

キョウウコ 聞いてます!?

鳴海・熊谷 え？あ、ああ。多分。…(咳払い) どうしますか。出るところ出ちゃいますか？それともココから出て行きますか？好きな方をどうぞ。

ノリコとキョウウコは喋らずに去っていく。

鳴海も去っていく。

熊谷は深く息を吐きながら机につつぶす。

左道 お疲れ様です。なんか鳴海さんみたいでしたよ。

熊谷 …。

左道 エイコさん？

熊谷 参った。あの人、死んだんだね。

左道 …はい。

熊谷 ああいう話方するの、アタシの役目じゃなかったのに。あー、あの人死んだんだ。あんたの言う通り、アタシ分かってなかったみたい。ウケる。

左道 でも、見事に二人を撃退して。

熊谷 神様のイヤな事アタシ分かっちゃうからね。

左道 え？

熊谷 こんなところ、他にあんのかなあ。

左道 続けられない、ですかね？

熊谷 社長がいらないじゃない。そういえば、さっき何探してたの？

左道 あ…、実は、社長が殺された所に行って来たんです。それで見つけたんですよ。ダイニングメッセージ。

熊谷 …。

左道 ジュースの自販の下に、5桁のダイニングメッセージ。アタシ達のソバで5桁の数字って言ったら。

熊谷 神様番号？

左道 エイコさん、一緒に探しませんか？警察はダイニングも見落とす位やる気ないんですよ。

熊谷 何の為に探すの？

左道 そんなの、自分の為に決まってるじゃ無いですか。社長の為なんて口が裂けても言いませんよ。そんな事いう奴、嘘っぱちじゃないですか。

熊谷 …ダイニングメッセーじじゃない？ダイニングメッセーじじゃ、お母さんからの伝言、みたいな。あつたかい感じになっちゃって、ま、どっちでも良いけど。

タカミがノックをして入ってくる。

タカミ や。

熊谷 タカミさん。

タカミ 二人だけ？ま、良つか。アタシ、岩手に帰ろうかと思って。

熊谷 …え？

左道 岩手出身だったんですか。

タカミ なんだ。芸能界引退。ま、そんな訳で見納めに。あと、お線香。

左道 骨壺はウチにあります。

タカミ またお線香上げられないの、アタシ。

熊谷 芸能界止めるんだったら、この社長になったら良いじゃないですか？

左道 え？

熊谷 …いや、アタシ何言ってるんだろう。ごめんなさい。行ってらっしゃい。

タカミ 畳む気無くなった？だったらエイコが社長やれば。

熊谷 アタシはそういう器じゃないんで。

タカミ 昔お客だったから？

左道 は？

タカミ エイコね、ハイテンションファイナンスにお金借りてたのよ。

熊谷 暗黒OL時代にね。

左道 えー。

熊谷 OLのしがらみって凄いいんどくさいじゃない。ストレスで買い物しすぎてカード破産しかけて。ここで借金返済させようとしたんじゃない？

タカミ それで借金返済させようとしたんじゃない？

熊谷 暫く月給天引きされてんですよ。こズルいんだよ、あいつ！

左道 えっ。えっと。

タカミ 言っちゃいな。あんただってあるでしょ。

左道 機嫌が悪いんだかなんだか知らないけど、新入社員に絡むってありえますか？

熊谷 それ、あたしの時もあつた！

タカミ それで？

左道 それで？

タカミ だから？

熊谷 だから？

左道 ムカつく？ムカつくっていうか、何だアイツ。理解出来ない！

熊谷 何でも分かっているみたいな顔してさ。人を見透かして、じゃあ、何かすんのかとか思ったら、何にもしないみたいな。

タカミ アイツマジあり得なくない？絶対付き合えない。

熊谷 いや、それだけは絶対に無理。いや、それだけは絶対に無理。

タカミ 女心を分かっているじゃない？女はさ、止めて欲しいとかさ、慰めて欲しいとかさ、あるんだよね。ちゃんとそのオーラ出してるのにさ、それ無視！

左道 あ、タカミさん、そういうの出せるタイプ？

タカミ 隠したいんだけど出ちゃうじゃん。そういうの。でも、出しまくってくる奴？アレ大っ嫌い。

熊谷 かつちわりーんだよねー。

タカミ 整形するって金借りたら、次に言うのは利息の話でしょ。もうちょっとなんかあんだろとかさ。

熊谷 人を、裸にしてさ、それでへえ、そういう体型ですかって言うだけみたいなの。

タカミ 何？エロい話？

熊谷 違う違う。なんて言うの？心の話じゃん！

左道 アレさ、アレさ、精神的なゲイなんじゃない？

熊谷 で結局、勝手に死んでさ。ありえないよ。勝手に死なないでもらえないかな。

タカミ 本当に気持ち悪い。勝手に死ぬとか。

左道 この裸にされたアタシ達はさ、素っ裸で？どうしたら良いの、これ。

熊谷 風邪引いちゃうよね。人間が。

タカミ でもさ、もう服も着たくないんだよね。風邪ひいたって別に良いんだよね。

熊谷 そうなんだよ。そうなんだよ。本当、だから困るんだよ。勝手に死んでもらっちゃさ。風邪引いちゃうんだよ！

三人とも肩で息してる。

熊谷 なんか社長殺した犯人にやっと腹立ってきた。

タカミ あたしはね。お線香、一本で良いから上げたい。

熊谷 犯人探そう。

左道 え？な、え？ズルい！

熊谷 何よ。気分よ気分。

タカミ どうやって探すの？

熊谷 ノアちゃんが犯人のヒントを見つけたの。

左道 5桁の顧客番号。手当たり次第3人で電話しましょ。

タカミ あたしも入ってるの！？

熊谷 うん！で、なんて電話しよう？

左道 ふえ？

タカミ そんなもんかま掛けの嵐で良いでしょ。あの日の事で話がある。警察に言われたくなかったら明日の夜どこそこまで来いとか。

左道 どこにしますか？

タカミ そりゃ、戸山公園じゃない？バラバラで待てばさ、ドラマっばいじゃん！

三人 良いねえ。

左道 来なかったらどうします？

熊谷 三人で岩手で畑耕そう。

三人 良くないねえ。ははは。

熊谷 (受話器を耳に当てて) コレ掛かって来たら、最悪の電話だね。

三人 最悪最悪。

三人は顧客情報の資料を分け合い、電話をかけ始める。

熊谷 もしもし、ハイテンションファイナンスなんです。太田さんの携帯？どうも。いえね、

ちよっとお話が。ええ、あの日の事なんですけど。そう。あの日の事。警察に言われたく
なかったら、明日の夜、戸山公園の理工学部側入り口まで来てください。

左道 もしもし、あ、小川さんの携帯？ハイテンションファイナンスの、

タカミ もしもし、ハイテンションファイナンスだけど、お宅、楠田さんの家？

熊谷 もしもし、ハイテンションファイナンスの。

左道 もしもし、ハイテンションファイナンスの。

タカミ もしもし、ハイテンションファイナンスの。

熊谷 もしもし、

左道 もしもし、

タカミ もしもし、

色々な着信音が鳴り、様々な携帯のバックライトが光る。

色々な思い、感情、声質のもしもしが連なり、音楽にも聞こえる。

着信音が激しく鳴る。

〜第21場〜

携帯のバックライトがまず浮かび上げたのは、山脇家。

ノリコは、意味も無い行動を繰り返しながら、話している。

ノリコ ねえ。

山脇 何。

ノリコ 私の事、…何だと思ってるの？

山脇 何言ってるんの。

ノリコ 答えて。

山脇 妻。

ノリコ …。ははは。(真似して)妻。ははは、半魚人みたい。つま。

山脇 半魚人の言い方とか、分からないけど。

ノリコ 風俗嬢探して、それでどうするの。

山脇 風俗？

ノリコ 風俗。ハイテンションファイナンス。借金。結婚。施設。クビ。アタシのお金。積上げる借金。何も残らない生活。不幸すら残らない。この家には酸素が少し足りていない。

山脇 ちよっと。

ノリコ まるで海の底に、あー、違うな。水溜りだ。水溜りの底で、アタシは溺れた。

山脇 水溜り。

ノリコ うん。器用なのよ。あはは。水溜りで溺れるなんて出来る？だって、水溜りってアレだもんね。ピッチピッチチャプチャプ、ランラランーあははは。浅い。だって、浅いもんね。水溜りよ。その浅い中で、あははは、器用でしょ、器用に溺れてくの。ゆっくり、ゆっくり。もう…暗い。

山脇 ノリコ。

ノリコ 気付いちやっただ。溺れてるって。そうしたら、溺れたままじゃいられないのよ。だから、名前を呼ばないで。

山脇 ノリコ。

ノリコ …呼ばないですよ。私のお金も、退職金も、全部、風俗に使ったお金に消えて。これはさ、アタシが悪いの？

山脇 きつと僕のせいだ。

ノリコ そうやってアタシを責めるから。

山脇 責めてないって。僕のせいなんだって。

ノリコ 幸せにする。僕は施設出身だけど、恥かせない苦勞させない。自分はずっと不幸だったから神様に借金させてるんだ。だから、その戻ってきた分をそっくりそのまま君に使用したい。とにかく、君を幸せにしたいんだ。

山脇 え？それ…。

ノリコ 幸せにする。僕は施設出身だけど、恥かせない苦勞させない。自分はずっと不幸だったから神様に借金させてるんだ。だから、その戻ってきた分をそっくりそのまま君に使用したい。とにかく、君を幸せにしたいんだ。

山脇 何で、プロポーズを一字一句…。

ノリコ 私は、あの時、盛大な花火が上がって、壮大な音楽も流れて、呪われた。

山脇 俺は…。

ノリコ 私は、あなたに、何をして欲しかったんだろう。

ジロウはポケットから離婚届を取り出す。

山脇 …。

ノリコ え。

山脇 君がして欲しかったのは、これだよ。（離婚届を渡す）

ノリコ …。

山脇 判は押しておいたから。出して置いて。

ノリコ 離婚、届け。

山脇 紙切れ一枚の事だよ。たかだか紙切れ一枚の事だ。なんて事は無い。ノリコ、君は僕の事が嫌いだったんだ。それに気付けたんだから、幸せだよ。おめでとう。ずっと気が付かなかった事に、気付く事が出来たのは、本当に素敵な事じゃないか。幸せだよ。君は。幸せだ。

ノリコ 幸せ？今？

山脇 そう。やっと水溜りから抜け出せるんだから。

ノリコ …。

山脇 水溜りはさ、動けないんだよ。だから、一緒に居てもらおう、それしか無いんだよ。

山脇の携帯が鳴るが、出ない。

ノリコ …。

山脇 一つだけ、お願い。一つだけ聞いても良い？

ノリコ 何？

山脇 今まで、幸せだった？

ノリコ 幸せだった？

山脇 …。

着信音が切れる。

ジロウ、去りながら携帯を確認する。

ノリコ、自分のポケットから白紙の離婚届を取り出し、見比べる。

着信音が鳴り出し、携帯のバックライトが光る。

熊谷 もしもし、

左道 もしもし、

タカミ もしもし、

熊谷 もしもし、

左道 もしもし、

タカミ もしもし、

熊谷 もしもし、

左道 もしもし、

タカミ もしもし、
熊谷 もしもし、
左道 もしもし、
タカミ もしもし、

それぞれ、色々な思い、感情、声質のもしもしが連なり、音楽にも聞こえる。
着信音が激しく鳴る。

〈第22場〉

次に浮かび上がってきたのは、小泉家。

音楽を大音量でかけて、小泉シンがノリノリで踊っている。

そこへやってくる小泉キョウコ。

リモコンを使い、音楽を止める。

キョウコ 何やってんの！ご近所様に迷惑かけないで！

小泉 大丈夫大丈夫。

キョウコ 全然大丈夫じゃない。（外を気にする）

小泉 …。

キョウコ 大体話は終わってないの。なのにリビングに行って突然踊るって。お金。返す当ては

あんの？

小泉 無い。

キョウコ 無いつてあんた。街金行く前にお母さんに相談して。

小泉、音楽をかけて、踊りだす。

キョウコ、慌てて消す。

キョウコ …なんで！？（外を気にする）

小泉 良いじゃないか、別に。

キョウコ 良くないわよ。

小泉、また音楽をかけ、踊る。

キョウコ、消す。

小泉、かける。

キョウコ、消す。

二人牽制し合う。

小泉が音楽をかけようとする、キョウコはリモコンを投げる。
リモコンは水槽の水の中に。

小泉 あー！

キョウコ あー！なんて事すんのよ！

小泉 母さんが投げたんだろ。

キョウコ あ（外を気にする）。

小泉 そんなに外が大事？

キョウコ 当たり前じゃない。大音量の音楽が付いたり消えたりしたら、気にするでしょ。あんただって地域振興を考えてる人間なんだから、気にしなさい。

小泉 地域振興なんてくそくらえだ。

キョウコ 何ですって？

小泉 高田馬場は高田馬場だし、大久保は無くならないし、母さんの言ってる事はめちやくちゃだよ。

キョウコ 何言ってるの。高柳先生だつてね、

小泉 誰だよ、その馬鹿柳とかいう奴は。

キョウコ ターカヤーナギー！

小泉 どうせ、母さんが大事なのは、自分の事だけだ。

キョウコ 何馬鹿な事言ってるの。

小泉 母親だったら、たまには母親らしい事をしてくれよ。

キョウコ …。

小泉 うわー！気持ちいい。チョー気持ちいい。何も言えねえ。

キョウコ 北島康介…。

小泉 本当だ。金メダリストと同じ気持ちだよ。母さん。今俺。金メダリストだ。人生の金メダリストだ！

キョウコ 何言ってるの。

小泉 母さん、教えて上げるよ。母さんはね、俺を見る事なんてしなくなったんだよ。俺は

ズーっと一人だった。

キョウコ 笑顔で何怖い事言うの。

小泉 今俺はね、無敵なんだ。何でも分かるんだ。奇跡を起こせるよ！

キョウコ 奇跡？

小泉 例えば、あのリモコンは壊れてない！まだ使える！例えば、この部屋の蛍光灯は寿命が近い。3、2、1。（電球がチカチカする）ほら！他にも、母さん、母さんも借金してますな？

キョウコ 何を言ってるの。

小泉 お金を、借りてるね！しかもあのバカ柳に払ってるんだ。そうでしょう。当たってたら両手を上げて！

キョウコ （両手をあげる）

小泉 馬鹿っぽい！しかも、えーまさかの？まさかのハイテンションファイナンス？

キョウコ （両手をあげる）

小泉 馬鹿っぽい！

キョウコ あんたにこんな特技があったなんて。

小泉 ズーっと目の前にあった壁を乗り越えるのに、頑張ったら、なんかうわーってうわーってなって、多分、脳みそ120%使用中です！目の前がチカチカしてる。リアルな感じで！

キョウコ その、その無敵感で政治に携わったら、

小泉 聞こうか聞こうか。俺の話。政治には興味が無いNO！奇跡ついでに言えば、母さんの政治もNO！めっちゃくちゃな政治なんてバカ柳の金集めに利用されて終わり。だったら、息子の借金払った方がマシだ！

キョウコ メチャクチャ。分かってたよ。全部分かって見ない様にしてたんだ。

小泉 哀れだね！

キョウコ そうだね、アタシ哀れだね！誰もあだ名でなんか呼んでくれないよね！

小泉 キョンキョン！

キョウコ あんたに呼ばれても嬉しくも何ともないのよ。あははは。

小泉 わはははは。

二人笑い合う。

笑っている中で、小泉は鼻血が流れている。

キョウコ 借金払って、0からやり直すか！無敵君！

小泉 でもね、無敵の時間は短い。あのマリオでさえ20秒も無敵にはなっていられなかったんだ。

小泉倒れる。

キョウコ ちょっと、大丈夫？シン？シンちゃん？

小泉が気を失っただけである事を確認し、ほっとする。

水槽の中にあるリモコンを取り出し、恐る恐るスイッチをONにする。

音楽が鳴り出し、キョウコは笑う。

笑いながら踊るキョウコ。

倒れながら無意識に踊るシン。

蛍光灯がチカチカして切れる。

〜第23場〜

着信音が大きく掛かり、携帯のバックライトが眩しく光る。

左道のソバには骨壺があり、山脇が左道と対峙している。

山脇 あの日って何の事？どれの事？

左道 本当に来た。

山脇 何を見たんだ。何を知ったんだ。

左道 100万人があなたの事を知ってますよ。で、あなた誰？

山脇 君は僕を知らないのか。呼び出したんじゃないか。

左道 名乗れないですよね、社長を殺したら。

山脇 山脇です。

左道 あ、山脇さんが社長を殺したの。

山脇 違う違う。イヤだなあ。今のは思わずっていうか、そもそも犯人だったら名乗れないんでしょ？そう言ったじゃない。君は誰だい？

左道 左道です。

山脇 ホラ、名乗れた。だから僕達は犯人じゃない。犯人じゃない同盟だ。一緒だねー！

左道 何言ってるんですか？

山脇 分かりませんー！

左道 いったんシヨン上がったの…。

山脇 大体100万人も目撃者が居るなら、捕まえたら良いじゃない。捕まえて、三枚におろして干物にでもしたらどう？

左道 100万人はただ見てるだけの目撃者なの。

山脇 100万人って誰だい（左道の腕を掴む）？

左道 ちよっと！100万人は絶対に触れない所に居る人たちですよ。

山脇 ム、ムラサキ…。

左道 あたしのどこに紫が、…！？

山脇 …。

左道 何？

山脇 山脇ですージロウ！ジロウ。山脇。ジロ脇！違う。ジロウさんだよ！

左道 なんだかすっごい嫌。誰かに似てる。

山脇 ムラサキ！元気だったか。

左道 あたしは、ムラサキじゃない。

山脇 冗談はよしこさん！どこに居たんだよ。どこのお店に？ずーっと探したんだよ。

左道 冗談じゃないです。ムラサキじゃないってば！

山脇 冗談はよせ！もう冗談なんか許せる余裕は一個もないんだ！あ、ごめん、まるで夢の時間だった。君と一緒にいたあの人生から見ればほんの一欠片の時間が、心安らぐ時間だったんだ。

左道 やめて。

山脇 ずっと、ずっと。会えたら言おうと思ってた事があるんだ…。

左道 何を言うつもり。ちよっと、嘘でしょ。

山脇 好きだった！ずーっと君の事を忘れた事は無い。付き合ってた欲しい。妻が居るけど。でも、もう別れたんだ。だから、えっと、やらせてくれ！

左道 …。

山脇 …お金か。お金なら、もう、（財布出して）コレ、コレ全部上げるから。そうだよね、お金から始まった関係なんだから、段々、段々、その金額を下げて、最後はさ、タダで、お願い。

左道 自分が何言ってるか分かってるの？

山脇 もう何もかもが分からない。でも、ここでこうしてこの二人がこの瞬間出会えたのだからコレは、奇跡だ。

左道 奇跡なんかじゃない。畏だよ。これはただの、神様が仕掛けた畏だ。

山脇 え？

左道 あなたが忘れられないほんの一欠片と呼ぶあの場所のあの瞬間。アタシは忘れる努力しかして来なかった。あの唇を奪われた瞬間、あたしがトイレに駆け込んだのを覚える？

山脇 覚えてる！全部覚えるよ。あの時の君はロングで紫のアイシャドウが、

左道 吐いたんだよ！全く意味が分からないけど、まるで兄弟とキスをしたみたいで、とんでもない吐き気が襲って来たんだ。

地べたに横になっていた巢鴨が起き上がる。

巢鴨 痴話喧嘩ならどっか他でやってくれ。ココは公園だぞ。寝るか遊ぶ場所だ。でももう夜だから、花火は禁止だぞ。

左道 うるさい！

巢鴨 あ、すいません。

左道 なんでアタシの周りにはあんたみたいのとか、あんなルンペンみたいのしかいないんだ。ルンペンじゃない！あ！

左道 あ？

山脇 先生？

巢鴨 ん？田井中君？田井中ジロウ君だ。

山脇 …今は、山脇です。でも田井中に戻ります。

巢鴨 なんだ、複雑か。複雑。生きてるって事だな。良かった！

山脇 ルンペンなんですか？

巢鴨 なぜ、皆私にルンペンかと聞くんだけ。ちょっとな。色々。な、ノアちゃん。

左道 山脇さんは巢鴨ホーム出身の、田井中ジロウ？あたしと殆ど入れ替わりで出て行った？

山脇 ムラサキも？

巢鴨 なんだ分かってなかったのか？二人とも巢鴨ホームの家族だよ。

左道 この人が。

山脇 家族？

巢鴨 お父さん、お兄ちゃん、妹。もどきだけどね！

左道 嘘だ。

巢鴨 お父さん、お兄ちゃん、妹。お父さん、お兄ちゃん、妹。お父さん、お兄ちゃん、妹。

左道 やめる！

巢鴨 ぎゃっ。

左道 ノア、切れる事件。

左道 家族ももどきで、家だつてもどきだ！あんたの家なんて存在しないの。あんたはずーっとルンペンだったんだ！

巢鴨 違うよ。家はあったし。

左道 巢鴨ノート見たんだろ！見たんだろ！

巢鴨 み、見ました。おかげで彷徨って、気付いたら公園で寝るはめに。

左道 言ったでしょ。あのノートには面白いなんて一個も無い。あるのはあの場所に居た子供の
本だ。家族のかの字もなかったろうが！

巢鴨 あんなもの、子供のただのおふざけだ。

左道 そう言ったって受け止めきれないから、高田馬場の徘徊老人になったんだろうが！
ううう。

山脇 ムラサキ。

左道 ムラサキじゃないし！心休まる時間？結局、体の良い逃げ場を見つけただけじゃない。で
もね、分かってんのよ。アタシの中も散らかりっぱなし。あんたとアタシは同じ人間な
の。同じ穴の貉って奴ですかー！？（電池が切れかける）

山脇 大丈夫か？ノ、ノア。

左道 （復活）名前を呼ぶな馬鹿たれ！大丈夫か？大丈夫だって言って欲しいだけだろ。あんた
も、あんたも！自分の事しか考えてないのが見え透いてんのよ。だったらアタシを気にか
ける様な事、一言も口にしないで！

山脇 それでも、俺は君が好きだ。

左道 …。

山脇 な。

左道 何が、な、なのよ。この気違い。

山脇 え？

左道 この、気違いいー！

巢鴨 ははは。（山脇に見られて黙る）

左道 傷が傷じゃなくなる事でホッとして、それを恋と間違えるって、高校生か、馬鹿野郎。ど
うせすぐ目の前にある幸せも逃して、自分の事しか見て来なかったんだ。

ノリコが離婚届を2通持っている。

右手にジロウの印鑑のある物、左手には白紙の物。

見比べた後、一緒にして破く。

左道 だから、あんたは出来るんでしょ。人を殺すなんて事が。

山脇 俺じゃない。

左道 どうせ不幸を受け止めきれなくなって、誰かのせいにして、それを正解にしちゃったんで
しょ。でも、無かった事になって出来ないから。（骨壺を持ち出して）ホラ！コレ。これ
が鳴海レイジの成れの果てだから。出来るもんなら手を合わせてみなさいよ。

山脇 俺は何もしていない。

左道 無かった事になって出来ないって言ってんじゃない。youtubeでもニコ動でもなんでも良
いけど、見てみれば。山脇さん、映ってますよ。あの日の、あの事件が。

山脇 え、え？

左道 お父さん。お父さん！寝てるんじゃないよ！お兄ちゃんが、人を殺したって！

巢鴨 え、え？え？

左道 それにアタシの体も求めて来て。あ、でもお兄ちゃん。お父さんなら、お父さんなら、
きつとなんとかしてくれるよ！

山脇 …お父さん、どうしよう。どうしたら良いんだろう。

巢鴨 人殺し？え？田井中君が？

山脇 お父さん！

巢鴨 お父さんじゃない！私は、ただの先生、ただの赤の他人だ。君たちこそ！私について、ある事無い事ノートに書いて面白がって。いつかこんな事件を起こすんじゃないかと思ってたんだ。

左道 薄っぺらいなあ。許せないなら、本当の家族だなんて口が裂けても言わないで！

巢鴨 私は関係ない！

巢鴨、慌てて去っていく。

山脇 …ノ、ノアちゃん。

左道 (遺灰を投げつける)

山脇 ちよっと！え？何？

左道 無かった事になって出来ないから。洗っても洗っても体のどこからか、鳴海レイジの何かが出てくると思いなさいな！

山脇 待って！

左道 何。

山脇 返事、もらってない。

左道 …(少し笑う)。凄いなあ。間違いめ。私は、全力であなたが大嫌いです。

山脇、どうして良いか分からず、去っていく。

左道はぼんやりと空を見上げ、遺灰を天に向かって投げる。

降ってくる遺灰をそのまま受け止める。

左道 …間違いか。アタシも間違いだ。同じなんだ。分かっているそんな事は。でもさ、あたしの居場所を見つけてくれた人が、アタシをずっと追い求めた男に殺されて、あまつさえくっだらな告白されて、なんだ、やらせてくれて。こんなの。もう運命とかそういうレベルじゃないでしょ。違うじゃん。なんか違うじゃん。間違いだ。アタシも間違いだ！

左道がしゃがみ込もうとすると熊谷がやってくる。

熊谷は段ボールで犯人対策として、完全武装している。

熊谷 間違い？え、何が？

左道 …段ボールが、喋った。

熊谷 エイコです。

左道 …。

熊谷 間違いだー。アタシも間違いだー。何コレ。ドラマティック。はははは。

左道 あ。

熊谷 間違いだー。アタシもー。間違いだー。

左道 止めて、ちょっと。恥ずかしい。

熊谷 場違いだー。

左道 最悪。

熊谷 あれ、もしかして本気だった？あんだ、気違いじゃないでしょ。

左道 え？

熊谷 天然な人は自分で天然って言わないでしょ。だから、自分で気違いって言うてる人は気違いじゃないでしょ。

左道 …。

熊谷 あれ？でも天然って言わない人は皆天然なのか？じゃあ、気違いって言わない人は皆気違い？あ、じゃあ、世の中皆気違い？え、やだー。あたしは気違いじゃない。あれ、こう言う場合はどうなるんだ？え、どうなるの？

左道 (少し笑いながら) エイコさん、凄い馬鹿っぽいですよ。段ボールかぶって、一人でブツブツ。

熊谷 鎧。コレ鎧だから。あんたもちゃんと着なさいよ。殺人犯と会うなら、段ボール！でしょ？

左道 聞いた事無い。

熊谷 タカミさんだって着てるわよ。

左道 着てる訳無いでしょ。

タカミがやってくる。

段ボールが小さかったらしく、肩で止まっている。

タカミ 誰も来ないじゃないのよ。…何よ。

熊谷 分かってるつもりですけど、一応聞きますね。それなんですか？

タカミ 鎧。

熊谷 やっぱりね。

左道 ネギマのネギの部分でしょ！

タカミ これしかなかったのよ。もちろん、無かったなりに考えたわよ。これ守れてるのだから。かって。でもあたし気付いたの。喉は急所じゃない。

左道 自分達だけ助かるうとして。

熊谷 よ、良かったじゃない。犯人来なかったんだし。

左道 犯人、来た。来たんです。山脇ジロウが。

熊谷 キモ神様じゃん。

タカミ 当たり前引いちゃった？

左道 (うなづく)

左道 …どうします？警察に言います？

熊谷 …ま、良つか。

左道 え。

熊谷 いや、なんか、捕まらなかったとしても、誰かにバレてるんだって思うだけでキツイでしょ。変に捕まったら、なんかホッとして忘れちゃいそうだし。

タカミ レイジの事？

熊谷 それだけじゃなくて。こういうアタシ達の事とかも含めて。あと、ノアちゃんが、夜中に
気違いだーって叫んでた事とか。

左道 ちよっと。

タカミ 何それ。

熊谷 気違いだー。気違いだー。って。馬鹿でしょ。

タカミ 気違いだー。キティガイだー。

熊谷 号外だー。号外だー。

タカミ あまだいだー。つぶがいだー。

熊谷 大将、ミルガイ一つ。

タカミ ミルガイだー。

左道 最悪だー！

熊谷 あれは忘れられないわ。アタシが生きてる限り忘れない。

タカミ あたしらなんて、どっか大体気違いなのよ。だから、気違いなのが普通。

熊谷 あ、それだ。

タカミ え？

熊谷 さっきの答え。だから自分を知らない嘘っぱちどもは、結局自分の気違い部分に飲み込ま
れちゃうんだ。

タカミ 欲求を食べたらさ、消化してあげないと。という訳で。私、ハイテンションファイナン
スの社長になります。

熊谷 え？

タカミ ダメ？段ボールつけてるよ？

熊谷 段ボール関係ないですけど。

熊谷 本気ですか？

タカミ 本気。さっき、あまりにも暇で考えてたんだけど、社長やりたいっていうか、なんかあ
んな達と居ると面白い上に飽きなさそうだし。っていうか、あたしやるから。

熊谷 それは、願ったり叶ったりですけど…。

タカミ だから、アタシ社長やるから、仕事を教える。お願いします。

熊谷 どんな言い方なの。

左道 ははは。あはははは。

タカミ 面白い？あたし。

左道 面白い。だって、馬鹿バツカリなんだもん！ハッキリ言うけど、馬鹿バツカリですよ。

熊谷 あんたに言われたくないわ。気違いだー気違いだー。

タカミ 社長だー。貴様らは平社員だー。

左道 馬鹿ばかりだ！チヨウケー！あはははは！

タカミ・熊谷 チヨウケ？チヨウ？意味分かんない！あはははは！

ストップ。

左道 どうですか。ちゃんと笑ってますか？

終幕。

暗転。